

中部地方整備局のインフラビジョン(案)

～ 中部地方の目指すべき姿を議論するために ～

インフラビジョン(案)の概要

1. 策定趣旨

近い将来、高度成長期に整備された大量の社会資本ストックが更新時期を迎えることから、更新投資が急激に増加し、将来の新規の社会資本に対する投資は、これら増大する維持管理・更新投資によって大きな制約を受けることが考えられます。

現在も、国・地方の厳しい財政状況のもと、財政再建、プライマリーバランスの観点から予算の削減が続いていますが、社会資本の整備や効果の発現には長い期間が必要であり、本格的な人口減少や高齢化社会が到来する前に、必要な社会資本整備を進めるには、社会資本への投資余力のある今後10～15年間で最後のチャンスであると考えております。

そこで、この機会に、中部地方の将来を見据え、この地域にとって必要なインフラとは何かを幅広く議論していただくための参考資料として、私たち中部地方整備局が現在取り組んでいる事業等とこれにより実現を目指す将来像について、「中部地方整備局のインフラビジョン(案)」としてとりまとめました。

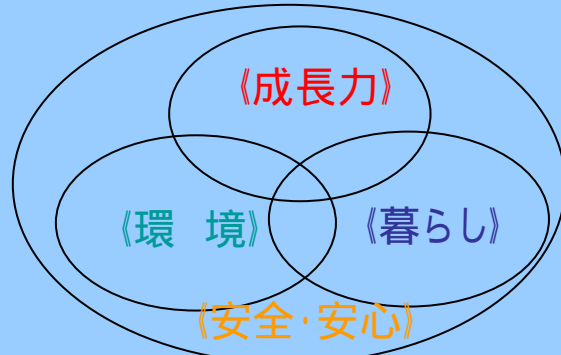
今後、ここに提示した将来像、及び、その将来像を考える上でベースとしたインフラについて、インフラは地域に活用していただくものであるとの認識の下事業の見直しを含めて議論頂き、「まんなかビジョン」改訂等のインフラ整備のための計画や事業の検討材料として活用していきたいと考えております。

2. 基本目標

今以上に活気と活力のある中部の実現に向け、インフラ整備のもつ役割は重要なものと考えます。

『中部のインフラが日本の元気をつくり、支える』

- ・さらなる発展を支える**安全**な国土づくりと**安心**な社会の実現
- ・モノづくり産業を中心とした中部の**成長力**のさらなる強化
- ・万博の理念を継承し、**環境**先進地域への転換
- ・誰もが生き生きと**暮らせる**豊かな生活環境の実現



3. 対象とした事業範囲

本ビジョンにおいて提示する将来像は、国が実施している事業を基本として、高速道路株式会社や水資源機構等が実施している事業、さらに国が補助している事業も考慮に入れ提案するものです。

また、事業内容はハード面の取り組みを主体としていますが、ソフト事業については「まんなかビジョン」の策定の中で議論することとしております。

*まんなかビジョンとは

国(国土交通省)、地方自治体(東海4県、名古屋市)、地元経済界の関係機関が協働して、県境を越えた中部地方全体の目指す将来の目標を提案するビジョンであり、中部地方において総合的かつ効率的な広域行政を目指し、国民本位、地域本位の地域づくりを実現するために、今後の個別具体的な計画に対する指針として、概ね10～20年後の中部地方の将来像と地域づくりの目指すべき方向、その実現に向けた具体的な目標を示しております。

インフラビジョン(案)が提案する将来像

3

中部の安全・安心を支えるために (安全・安心)

今後起こりうる大地震等に備え、災害に強い地域
だれもが「安心」を感じながら暮らせる地域

例えば

- ・ 過去概ね50年間で最大級の洪水が発生しても、河川からあふれて浸水しなくなる。
- ・ 大規模地震が発生しても、海上輸送ネットワークが確保されるとともに迂回路となる高速道路ネットワークネットワークが機能し、緊急物資輸送や企業活動が確保される。
- ・ 平成6年並みの大湧水が発生しても、確保された貯留水により断水だけは回避できるようにする。



中部の成長を支えるために (成長力)

産業都市圏として国際的に高い競争力を有する地域
産業観光資源をはじめ自然・歴史・文化など独自の地域資源を
観光に活かすことの出来る地域
ヒト、モノ、情報が海外と活発に直接交流する地域

例えば

- ・ 伊勢湾スーパー中枢港湾における次世代高規格コンテナターミナルの実現により、物流の効率化が更に進む。
- ・ 交通先進モデル都市が実現し、最先端のITS技術がいつでもどこでも体験できる。
- ・ 新物流システムの導入により、環境にやさしく、効率性、信頼の高い物流が実現する。



環境を保全・再生・創出するために (環境)

万博理念を継承した、環境負荷ゼロの循環型社会
国土の健康を回復し、世界の規範となる地域
日本の風土・風景を伝える地域

例えば

- ・ 環状道路機能の効果により、都心の渋滞が減少し、CO2排出量が削減される。
- ・ 水質・底質の浄化を通じて、伊勢湾や堀川等の河川や海の浄化が進む。
- ・ 各地で美しい街並み・水辺など景観が各地で形成・創出される。



暮らしを支えるために (暮らし)

各地域が自立した社会
高齢者がより長く元気に生活を楽しめる社会
子育てフレンドリーな社会
出会い・交流を楽しめる社会

例えば

- ・ 信仰の道・塩の道などのような人・モノの交流が復活し、「地方時代」のモデル圏域が形成される。
- ・ だれもが安全で円滑に利用できる交通環境が形成される。
- ・ 都市内の水際線を活かした「水の交流軸」の形成や、海や川の水辺などの身近な憩い安らぎ空間の確保が進み、様々な人々の余暇活動が拡大する。



インフラビジョン(案)が提案する将来像(例示)

過去の事例や今実施している取り組みから類推し,将来像を例示しています。

提案する将来像(例示)

過去概ね50年間で最大級の洪水が発生しても、河川からあふれて浸水しなくなる。

ものづくり回廊(環状道路)を通じて、自動車産業やIT産業等の各種産業が融合、イノベーションが期待される。

伊勢湾スーパー中枢港湾における次世代高規格コンテナターミナルの実現により、港湾コストの低減やリードタイムの短縮が図られ物流の効率化が更に進む。

過去の事例や今実施している取り組み

多くの水害に見舞われてきた中部地方

昭和34年の伊勢湾台風水害、36年の伊那谷災害、51年の長良川安八水害、平成12年の東海豪雨水害など、数多くの災害史に残る被害が発生。



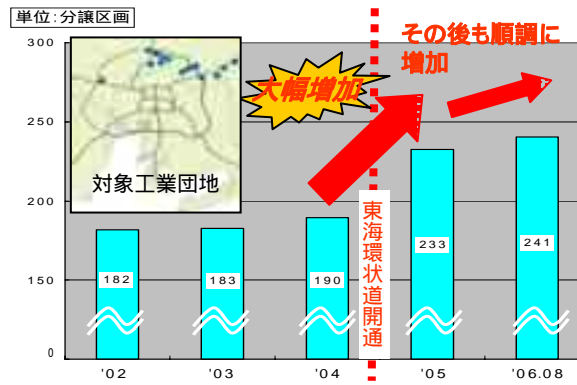
具体的な取り組み例

庄内川・新川の安全度を向上

平成12年9月の東海豪雨によって、庄内川及び新川沿川では破堤氾濫などにより浸水戸数約18,000戸に及ぶ被害が発生。このため、再び同様な被害が生じないように緊急的な治水対策を実施。(H12~H17年)



東海環状自動車道の開通により、沿線の工業団地契約分譲数が大幅増加

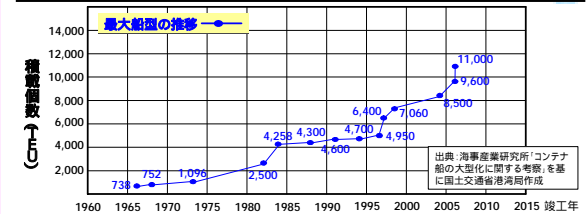


出典:沿線市町村へのヒアリングにより作成

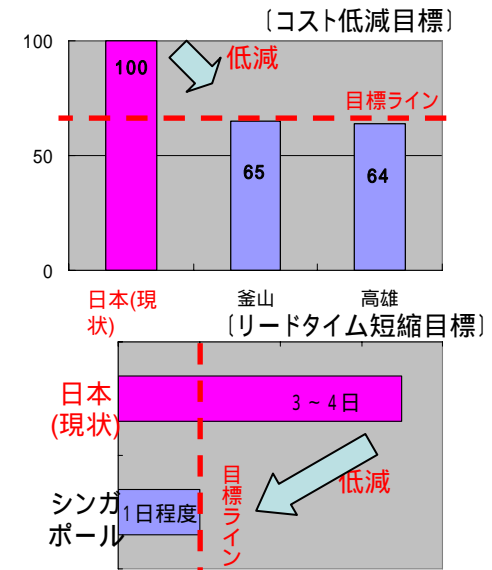
第二名神高速道路の沿線に、IT関連で2兆円の投資が見込まれている。



コンテナ船の大型化の推移と今後の動向



港湾コストは、現状より約3割低減
リードタイムは1日程度に短縮



4つの政策テーマと取り組み

中部の安全・安心を支えるために（安全・安心）

- 取組1 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実します。
- 取組2 被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えを充実します。
- 取組3 だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消していきます。
- 取組4 安心して利用できるインフラを適切に維持・管理・更新していきます。

中部の成長を支えるために（成長力）

- 取組1 陸・海・空の高速物流ネットワークを構築します。
- 取組2 東西の大動脈の更なる強化を進めます。
- 取組3 生産性を向上できるようなものづくりの拠点を有機的に連絡します。
- 取組4 太平洋・日本海・内陸部を結ぶネットワークの強化を進めます。
- 取組5 農作物・ものづくりに不可欠な水の安定供給をおこないます。
- 取組6 観光地としての中部の魅力を向上させます。
- 取組7 ものづくりの技術を生かした最先端の道路サービスを実施します。

環境を保全・再生・創出するために（環境）

- 取組1 環境への負荷を軽減します。
- 取組2 失われた自然の再生を進めます。
- 取組3 伊勢湾民の宝の海をつくります。～伊勢湾再生～
- 取組4 美しい国土・風景と良好な景観を回復・創造します。
- 取組5 清流の再生を目指します。
- 取組6 国土マインドの育成を進めます。

暮らしを支えるために（暮らし）

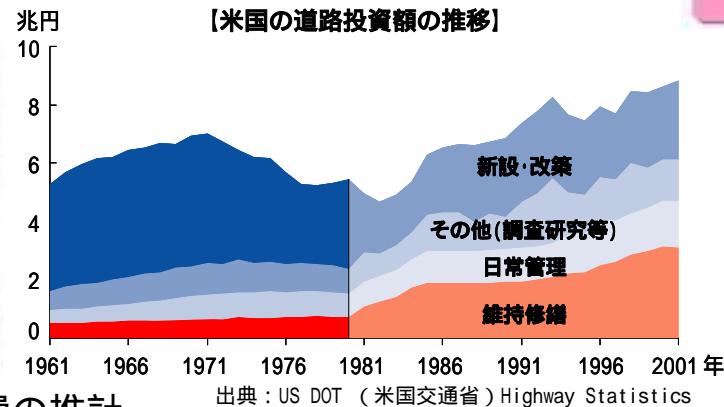
- 取組1 地方都市の活性化を促します。
- 取組2 中山間地域の活性化を促します。
- 取組3 人々がつどい、交流する拠点を形成します。

増大が必至、維持管理・更新費(留意事項)

真に必要なインフラとは何かを十分議論するためには、今後、増大が必至とされる維持管理・更新費も併せて考えていく必要があります。

荒廃するアメリカ(教訓)

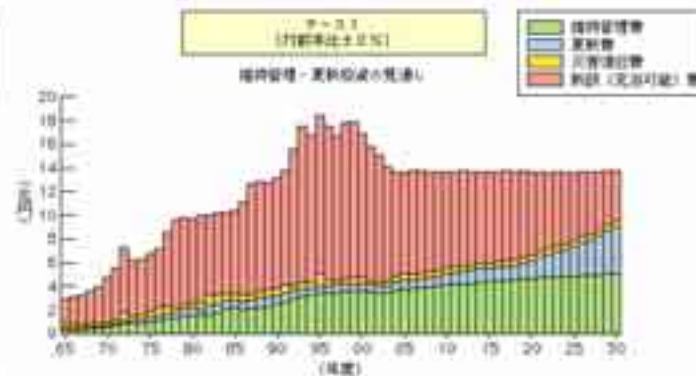
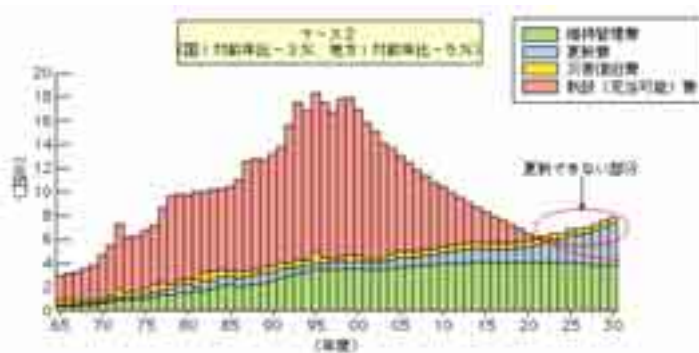
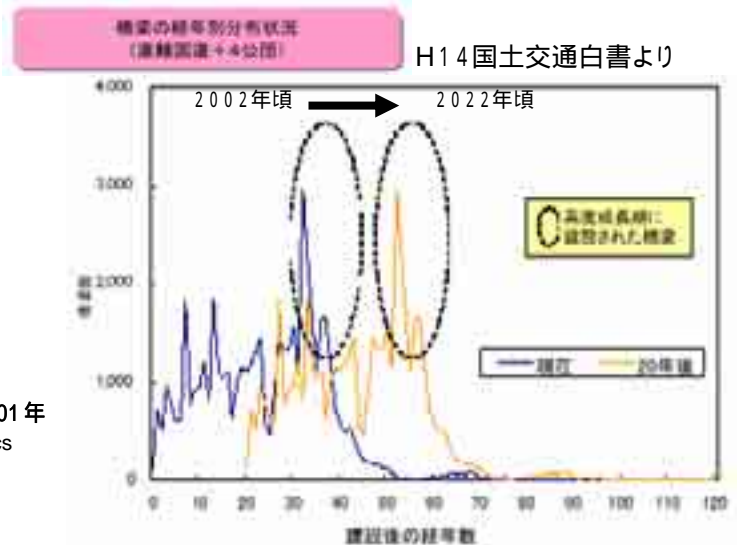
1930年代のニューディール政策により大量に建設された道路構造物については、1980年代のアメリカ経済の停滞により維持管理が行き届かず、橋梁の崩落等が発生し、「荒廃するアメリカ」と呼ばれる状況を招いた。







今後の維持管理・更新費の推計

老朽化するインフラストックの増大により、2020年代前半からは、新設費どころか維持管理・更新費も捻出できないケースも推計されています。

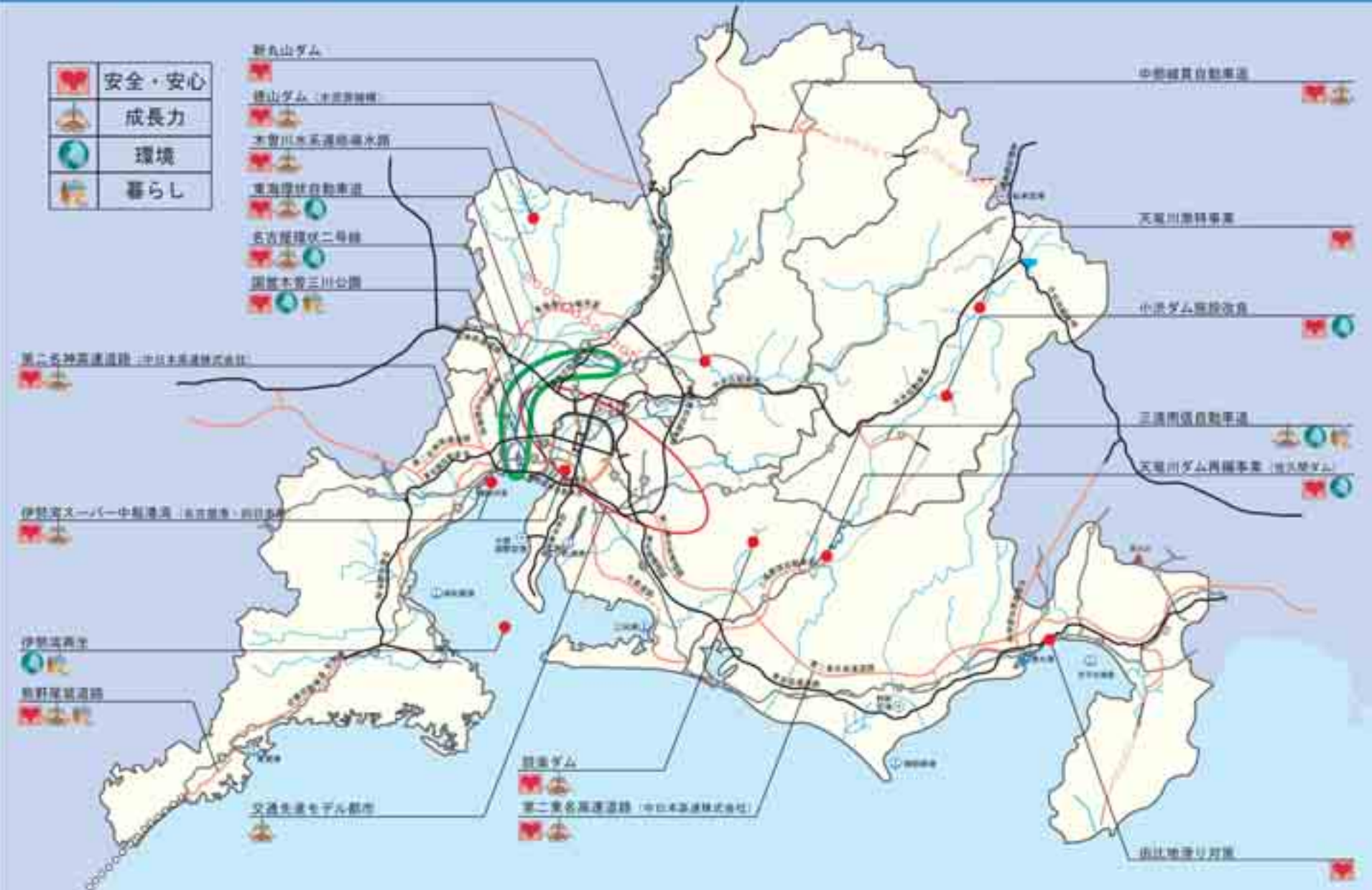
急速に老朽化する我が国の社会資本
高度経済成長時代に大量整備されたインフラストックが概ね15年後には半世紀を迎えることとなります。



Project Map

	安全・安心
	成長力
	環境
	暮らし

- 新丸山ダム 
- 徳山ダム (中津川流域) 
- 本曾川水系連綿橋水路 
- 東海環状自動車道 
- 名古屋環状二号線 
- 国営本曾三川公園 



- 中部縦貫自動車道 
- 石川川原橋事業 
- 小浜ダム施設改良 
- 三浦川環状自動車道 
- 石川川ダム再編事業 (増設ダム) 
- 山比地湧り対策 

主要プロジェクト一覧

取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実します。

東海・東南海・南海地震等対策強化

地震・津波から国土を守る ... 『海岸保全施設整備事業』
 人口・資産集積域の災害対策 ... 『河川改修事業』
 救急活動や緊急物資輸送の途絶を防ぐ ... 『橋梁の耐震補強』
 どんなくも中部の暮らしと産業を支えるた ... 『臨海部防災拠点機能の強化』
 めに
 津波・高潮による二次災害の防止 ... 『放置艇対策』

日本のまんなかを守る風水害対策

伊勢湾台風新たな半世紀を迎えて、元気な ... 『伊勢湾沿岸高潮対策』
 中部を海から守る
 “中部の中核”名古屋を高潮災害から守る ... 『名古屋港堀川水門大改修』
 近年発生した災害に対する再度災害防止 ... 『床上浸水対策特別緊急事業』
 対策により浸水被害を軽減 ... 『河川激甚災害対策特別緊急事業』
 治水ボトルネックの解消に向けて ... 『河川のボトルネック箇所対策』
 大規模な土砂災害から地域を守る ... 『砂防事業』
 もう怖くない東海豪雨！都市型水害からま ... 『河川整備』『下水道整備』
 ちを守る
 救急活動や緊急物資輸送の途絶を防ぐ ... 『道路法面等の防災対策』

渇水に強い地域づくり

関東の霞ヶ浦、関西の琵琶湖に相当する ... 『徳山ダム建設事業』
 中部の水瓶
 水の広域ネットワークで渇水をなくす ... 『木曾川水系連絡導水路』
 東三河の渇水対策 ... 『設楽ダム建設事業』

国土の異常な侵食、堆砂、山地崩壊の抑制

下流へ土砂供給をスムーズにする砂防事 ... 『透過型砂防堰堤の整備』
 業
 土砂環境の復元へ向けた取り組み 既存ス ... 『天竜川ダム再編事業』
 トックのリフレッシュ(天竜川) ... 『小渋ダム堰堤改良事業』
 海岸線の再生 砂浜の養浜事業 ... 『海岸侵食対策』

森林の荒廃抑制

山地の荒廃を防ぎ地域を守る ... 『砂防事業』
 ダム湖畔の荒廃を防ぎ湖を守る ... 『ダム湖畔林の整備』

取組2: 被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えを充実します。

高規格幹線道路のダブルネットワーク化

災害時の迂回路として機能する高速道路 ... 『第二東名・神高速道路、都市圏環状
 ネットワーク ... 道路等の整備』

災害に強い重要交通網の保全

東京～名古屋間の寸断を防ぐ ... 『由比地すべり対策事業』
 我が国の国土軸を保全 ... 『駿河湾沿岸の津波高潮対策』

災害情報ネットワークの整備

広がる防災ネットワーク ... 『光ケーブルネットワーク整備』
 地上デジタル時代の新たな防災情報 ... 『地上デジタル放送向け情報提供シス
 テムの整備』

適切な災害情報の提供

高潮災害に備えた防災情報の発信 ... 『高潮予測システムの構築』
 気候変動による集中豪雨をとらえる ... 『レーダ雨量計の更新』
 防災情報の充実で迅速・的確な災害対応 ... 『光ケーブルネットワーク整備』(再掲)
 の実施
 地上デジタル時代の新たな防災情報 ... 『地上デジタル放送向け情報提供シス
 テムの整備』(再掲)
 広域的な波浪観測態勢の構築による沿岸 ... 『GPS波浪計を活用した沖合波浪観測
 網の構築』

被災時の生活と産業活動を支える基盤づくり

どんなくも中部の暮らしと産業を支えるた ... 『臨海部防災拠点機能の強化対策』
 めに
 市民の生命、財産を水際で守る津波防災 ... 『津波防災ステーション整備』
 機能の充実
 水防・災害復旧の集中基地 ... 『河川防災ステーション整備』
 まちの身近な公園を、いざというときの避難 ... 『防災公園の整備』
 地、復旧・復興の拠点に

取組3: だれもが「安心」して暮らせるよう
ひとつひとつ不安を解消していきます。

耐震インフラの事前情報提供

道路の耐震性能情報はワンストップで手軽 ... 『橋梁耐震補強マップの公表』
に入手
みなとのどこに運ばよいかわかります ... 『港湾施設の被災情報発信』

公共施設のユニバーサルデザイン

交通結節点のユニバーサルデザイン化 ... 『交通結節点の整備』
『バリアフリー歩行空間ネットワーク整
備事業』
ユビキタスネットワークを活用した自律移動 ... 『おもいやりナビ実証実験事業』
支援
みんなが使って、みんなが楽しい 多様な ... 『国営木曾三川公園』
活動を支える場
手すり付き緩傾斜坂路の設置 ... 『福祉の川づくり事業』
ストレスフリーなみなとの実現 ... 『港湾におけるユニバーサルデザイン
化の推進』

交通安全対策

交通事故多発地域から交通安全先進地域 ... 『交通安全施設等整備事業』
^
放置艇の解消で海上交通も安全に ... 『放置艇対策』(再掲)

テロ対策

テロ行為 ~ みなとでキャッチ ... 『国際港湾施設の保安確保』

取組4: 安心して利用できるインフラを
適切に維持・管理・更新していきます。

既存ストックの有効活用

パワーアップ 木曽川の水瓶 ... 『新丸山ダム』
土砂環境の復元へ向けた取り組み 大量 ... 『天竜川ダム再編事業』
流下土砂から施設の延命(天竜川) ... 『小洪ダム堰堤改良事業』
社会資本の延命化 ... 『道路構造物のアセットマネジメント』
生活の必需品 下水道のリニューアル&パ ... 『下水道の耐震化・高度化』
ワーアップ
みなとの機能をいつも新鮮に ... 『港湾施設の維持・管理』

施設の計画的かつ効率的更新

計画的な補修及び更新計画の立案 ... 『道路構造物のアセットマネジメント』
リフレッシュで内水被害ゼロをめざして ... 『排水機場更新』
みなとのバージョンアップ ... 『港湾施設の計画的更新・改良』

取組1: 陸・海・空の高速物流ネットワークを構築します。

海と空の高速交通ネットワークの強化

利用者のニーズに応えるスーパー中樞港湾 ... 『伊勢湾スーパー中樞港湾プロジェクトの充実・深化』
世界のものづくりを支える中部のみならず ... 『清水港、三河港などの整備』
もっと近くにセントレア ... 『中部国際空港海上アクセス』
しずおかの空、開きます ... 『富士山静岡空港の整備』

航路の整備(海のボトルネック解消)

中部の玄関 伊勢湾をよりスムーズに ... 『航路整備』

陸路のネットワーク整備(ボトルネック整備)

ものづくり先進国「日本」を支える中部の道 ... 『空港、港湾とのアクセス強化』
路ネットワーク
国際物流基幹ネットワークの構築 ... 『20ftコンテナ通行不能区間解消』

取組2: 東西の大動脈の更なる強化を進めます。

広域交通を分担する高速交通網の整備

高速交通網の整備 ... 『第二東名・名神の整備』

取組3: 太平洋・日本海・内陸部を結ぶネットワークの強化を進めます。

潜在的な力を秘める「環日本海経済圏」と「太平洋沿岸経済圏」の連携強化

太平洋と日本海を直結 ... 『中部を縦横断する高規格道路の整備』

取組4: 生産性を向上できるよう

ものづくりの拠点を有機的に連絡します。

規格の高い幹線道路の整備

中部の高速道路ネットワークを世界標準に！ ... 『高規格道路網の整備』
東部から西部へ！産業立地や地域自立を促す ... 『東海環状ものづくり回廊』

取組5: 農作物・ものづくりに不可欠な水の安定供給をおこないます。

国民生活、産業を支える水の安定供給

関東の霞ヶ浦、関西の琵琶湖に相当する中部の水瓶 ... 『徳山ダム建設事業』(再掲)
水の広域ネットワークで湯水をなくす ... 『木曾川水系連絡導水路』(再掲)
パワーアップ 木曾川の水瓶 ... 『新丸山ダム』(再掲)
東三河の農業・工業・地域を安定に潤す ... 『設楽ダム』

取組6: 観光地としての中部の魅力を向上させます。

自然・歴史・文化を生かした中部の観光交流の拡大

生活と文化を結ぶ中部の道 ... 『地域高規格道路網の整備』
三河、遠州、南信地域の交流・連携ビジョンを実現する ... 『三遠南信地域の整備』
走り抜ける道から交流を生む道へ ... 『日本風景街道』
人々の笑顔と文化が集う「みなの」と目指して ... 『みなの観光交流拠点の形成』
もっと近くにセントレア ... 『中部国際空港海上アクセス』(再掲)

取組7: ものづくりの技術を生かした

道路交通のショーケースをつくります。

交通先進モデル都市プロジェクト

最先端のITS技術がいつでもどこでも体験できるまち ... 『交通先進モデル都市構想』

環境を保全・創出するために

《環境》

取組1: 環境への負荷を軽減します。

環状道路整備等による交通渋滞解消

都市圏のクリーンエア大作戦 ... 『都市圏の環状道路整備、交差点改良』
 ボトルネック踏切の抜本対策！鉄道の高架化・地下化でスムーズな往来を ... 『連続立体交差事業』

環境負荷の小さい新物流システムの構築支援

海上輸送で地球に優しく ... 『国内海上輸送網の強化・モーダルシフトの推進』

沿道の環境改善

人と車が共存する社会をめざして ... 『沿道環境対策事業』

健全な水・物質循環の構築、多様な生態系の回復

水瓶をさらにきれいに ... 『ダム湖分画フェンスによる水質の保全』
 遠州の水面清らかに ... 『佐鳴湖直接浄化施設整備』
 「君と一緒に海へ...」きれいな水を川・海に ... 『下水道整備』
 帰し、持続可能な水環境を ... 『シーブルー事業』
 多様な生き物がいきづく海づくり

都市環境問題への対応

みどりはヒートアイランド対策の特効薬！ま ... 『緑地の保全と緑化の推進』
 ちを冷やして快適に

多様化する環境問題への取り組み

循環型社会実現へのエンジン ... 『リサイクルポートプロジェクトの推進』
 リサイクルの先にも必要なもの ... 『廃棄物海面処分場の整備』
 安心に憩えるみなとへ ... 『ダイオキシン類等を含む底質の浚渫・無害化』

取組2: 失われた自然の再生を進めます。

日本古来の自然環境を再生

田方平野の原風景 ... 『狩野川自然再生事業』
 広大な大河川 再生に向けて ... 『木曾三川河口自然再生事業』
 山から河・海へ 国土をつくる土砂を送る ... 『砂防堰堤スリット化、堰堤施設改良』
 土砂環境の復元へ向けた取り組み(天竜川) ... 『天竜川ダム再編事業』
 ... 『小洪ダム堰堤改良事業』(再掲)
 浸食の進む海岸線の保全 ... 『養浜による海岸侵食対策』(再掲)

取組3: 美しい国土・風景と良好な景観を回復・創造します。

景観形成への取り組み

景観に配慮した電柱・電線のない歩行空間 ... 『電線共同溝整備事業』
 の創出
 山並みと街並みと人々の暮らしが調和する ... 『狩野川河川改修事業(下河原地区)』
 狩野川の景観づくり
 風光明媚な景観及び周辺環境に調和した ... 『日本風景街道』
 道路
 地域の魅力と生活を守るふるさと海岸の整 ... 『ふるさと海岸整備事業』
 備
 世界に誇りうる美しいみなとまちづくり ... 『清水港・みなと色彩計画』
 美しく風格のある海辺環境の創出 ... 『港湾緑地の整備』
 良好な港湾景観の形成 ... 『放置艇対策』(再掲)

取組4: 伊勢湾民の宝の海をつくります。～伊勢湾再生～

水環境の改善

取り戻そう、きれいな伊勢湾 ... 『木曾三川河口自然再生事業』(再掲)
 「君と一緒に海へ...」きれいな水を川・海に ... 『下水道整備』(再掲)
 帰し、持続可能な水環境を ... 『シーブルー事業』(再掲)
 多様な生き物がいきづく海づくり

生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充

美しく風格のある海辺環境の創出 ... 『港湾緑地の整備』(再掲)
 地域の魅力と生活を守るふるさと海岸の整 ... 『ふるさと海岸整備事業』(再掲)
 備

取組4:伊勢湾民の宝の海をつくります。～伊勢湾再生～

水環境の改善

取り戻そう、きれいな伊勢湾 ... 『木曾三川自然再生事業』(再掲)
「君と一緒に海へ...」きれいな水を川・海に ...
帰し、持続可能な水環境を ... 『下水道整備』(再掲)
多様な生き物がいきづく海づくり ... 『シーブルー事業』(再掲)

生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充

美しく風格のある海辺環境の創出 ... 『港湾緑地の整備』(再掲)
地域の魅力と生活を守るふるさと海岸の整 ... 『ふるさと海岸整備事業』(再掲)
備

取組5:清流の再生を目指します。

都市内河川の水環境改善

堀川を再生して迎える名古屋築城400 ... 『堀川の河川改修及び浄化』
周年

取組6:国土マインドの育成を進めます。

自然教育、癒し空間の整備

川から学ぶ ... 『水辺の楽校』
湖水に親しむ ... 『ダム湖活用環境整備』
河川に親しむ ... 『環境整備事業』
海で遊び学び育てる ... 『海辺の達人養成講座・海辺の自然学
校』
体験しながら学ぶ ... 『国営木曾三川公園の環境教育』

取組1: 地方都市の活性化を促します。

まちの賑わい創出への取り組み

「まちの顔」中心市街地にカンフル剤！特色 ... 『中心市街地における都市機能の増進』
を生かした活気のあるまちへ
創意工夫を活かしたオーダーメイドのまち ... 『都市再生・地域再生支援』づくり

産業の創出に資する取り組み

地域と都市を結び社会交流を支援 ... 『地域高規格道路の整備』

暮らしに身近な問題解決への取り組み

歩行者にも優しい、自動車にも快適な、ゆとりある道路空間ネットワーク ... 『街路整備』
憩い集える空間の創出 ... 『沿道環境改善』
自動車が使えなくても暮らしやすい、便利なまちへ ... 『公共交通支援』
近所の公園は小さな社交場、子育てをみんな ... 『都市公園の整備』
でバックアップ！
衛生で快適な生活への第一歩 ... 『下水道整備』(再掲)

取組2: 中山間地域の活性化を促します。

森林から沿岸地域までの水・物質循環機能を再生構築

人間社会と水との健全な関わりを構築し、 ... 『自然再生』
人の活動と水循環の調和を図る
住民と協働による市街地隣接斜面の整備 ... 『土岐川流域グリーンベルト整備事業』

安心して暮らせるための交通確保

「命の道」がもたらす安全・安心 ... 『命の道となる幹線道路の整備』

取組3: 人々がつどい、交流する拠点を形成します。

人々が交流することのできる交流拠点を形成

地域が主役の水辺拠点 ... 『水辺プラザ』
人々の笑顔と文化が集う「みなと」を目指して ... 『みなと観光交流拠点の形成』(再掲)
湖水に親しむ ... 『ダム湖活用環境整備』(再掲)

憩い、安らぎ空間の創出

川と親しみ自然を満喫 ... 『座光寺・万年橋利用推進事業』
美しく風格のある海辺環境の創出 ... 『港湾緑地の整備』(再掲)
こんな身近に豊かな自然が！木曾三川の ... 『国営木曾三川公園の整備』
流れに育まれた日本一の公園ネットワーク
自然とのふれあい～みんなが集まる楽しい海辺の創出 ... 『海岸環境整備事業』
蘇れ、都市の水辺(中川運河再生) ... 『緑地、係留施設の整備』

交流を活性化する地域ネットワーク整備

川にふれよう、川で遊ぼう ... 『狩野川コリドー事業関連』
地域の自立・活性化のために！交流人口増大を図る ... 『高規格道路・地域高規格道路の整備』
祈りの航路ふたび ... 『東紀州「海の古道」拠点港の整備』

市町村・住民と一体となった交流拠点の形成

みんなで、いっしょに始めませんか。美しい水辺を取り戻す活動 ... 『川と海のクリーン大作戦』

地域において今後議論が必要とされているプロジェクト(例)

中部国際空港二期事業

中部地域が先端的な産業技術の世界的中心としての役割を担うための最重要社会基盤である中部国際空港が、世界とアジアを結ぶ空の玄関口として利便性と信頼性を得て、真の24時間運用の国際空港となるため、2本目滑走路の整備が要請されている。



出典:財団法人中部空港調査会HPより

東西の新たな大動脈となる新物流

中部地方は国土の中央に位置するものとして、東西の大動脈に動脈硬化を起こさせない責務がある。一方で、陸上交通による負荷を大きく受けている地方であり、特に環境面における負荷を軽減する取り組みが必要であり、こうした取り組みの一つに第二東名高速道路を利用した新たな新物流システムが考えられる。

都市間物流システム



多連トレーラシステム
(国土交通省国土技術政策総合研究所)

例)多連トレーラシステム
連結トレーラが専用車線を走行するシステム

伊勢湾口道路

静岡県西遠地域(浜松市三ヶ日町付近)から渥美半島を縦断、伊勢湾口部分(島しょ部約20km)を横断して、三重県の志摩半島につながる、延長約90kmの道路。

この道路ができることで、交通が便利になり、さらに広い範囲での交流・連携や地域活性化も期待されている。



リニア中央新幹線

東京から大阪までの約500kmを約1時間で結ぼうとするもので、全国新幹線鉄道整備法に基本計画路線として位置付けられている。

大規模災害や東海道新幹線の輸送力の限界等に備えた多重交通ネットワークを構築するもう一つの新幹線として期待されている。



提供:JR東海

中部地方整備局のインフラビジョン(案)

～ 中部地方の目指すべき姿を議論するために ～

参考資料 主要事業の紹介

中部の安全・安心を支えるために

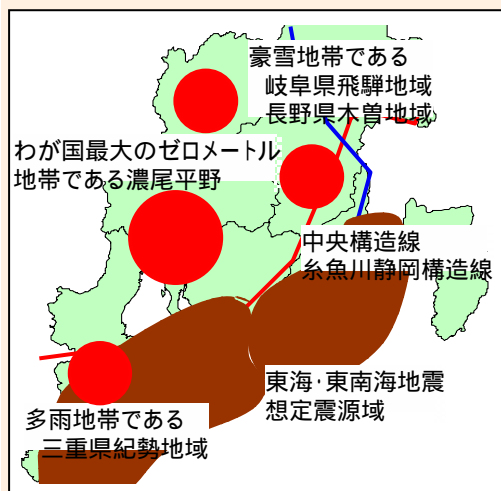
《安全・安心》

1

現状・特性

中部地方は、東海・東南海・南海地震の発生が懸念されているうえ、水害・土砂災害を受けやすい地形・気候特性（急勾配な河川、わが国最大の海拔ゼロメートル地帯、中央構造線など様々な断層が混在するもろい地質構造、わが国有数の豪雨・多雨地帯、台風の主要経路）を有するという、自然災害に対し極めて脆弱な地方である。

また、台風、地震、津波などによる巨大災害や、地球温暖化に伴う異常気象といった「天変地異」や複合型の災害が世界各地で頻発している。



一方中部地方は、日本のモノづくり産業の集積地でもあり、国土軸の結節点や日本の大動脈を担う社会資本が存在するため、日本の社会経済活動が麻痺させない役割を期待されている。

また、暮らしの面においても、交通事故死者数が日本一多い県が存在するなど「不安」を抱える地域である。

そのためにすること

取組 1

貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実します。

取組 2

被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えを充実します。

取組 3

だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消していきます。

取組 4

安心して利用できるインフラを適切に維持・管理・更新していきます。

目指すべき姿

- ・ 今後起こりうる大地震等に備え、災害に強い安全・安心な地域を目指します。
- ・ だれもが「安心」を感じながら暮らせる地域を目指します。

その他の取り組み

- ・ 東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会
...関係機関が共同し、大規模浸水を想定した危機管理行動計画の策定に向け検討
- ・ 複合型災害防災実動訓練
...関係機関が共同し、複合型災害に対応するための防災実動訓練を実施

取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

東海・東南海・南海地震等対策強化

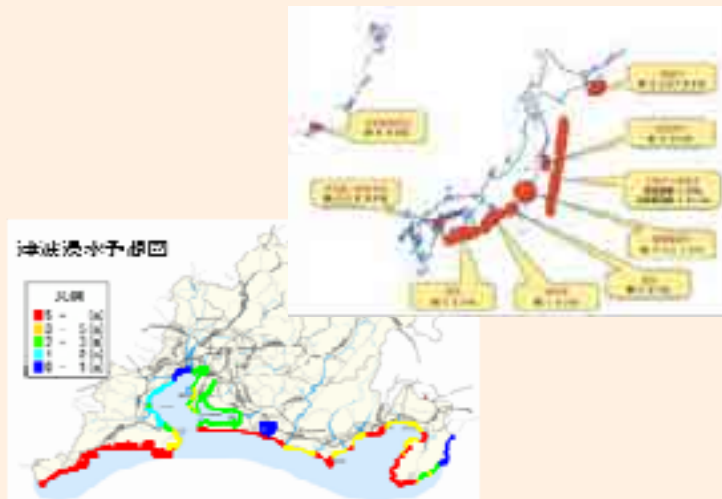
発生が懸念されている東海・東南海・南海地震等の大規模地震による壊滅的な被害を抑制するため、河川、砂防、海岸、ダム、道路、港湾等の社会資本を強化する

目的: 大規模地震による壊滅的な被害を抑制

手段: 社会資本の耐力の強化

背景・課題

- 東海・東南海・南海地震等、大規模地震の発生が懸念されている。
- また、地震に伴う津波発生により、駿河湾・遠州灘・三重県南部では甚大な被害が予想されている。



東海・東南海・南海地震等大規模地震の発生により起こりうる被害を最小限に抑制する備えが必要である。

主要事業

地震・津波から国土を守る取り組み

『海岸保全施設整備事業』

・地震災害による被害を防ぐため、海岸保全施設の耐震対策を実施。



人口・資産集積域の災害対策『河川改修事業』

・液状化が懸念される海拔ゼロメートル地帯における堤防の耐震強化を実施。



救急活動や緊急物資輸送の途絶を防ぐ

『橋梁の耐震補強』

・被災時の緊急輸送道路を確保するため、橋梁の耐震補強を実施。



どんなときも中部の暮らしと産業を支えるために

『臨海部防災拠点機能の強化』

・被災時の避難者の移動と緊急物資の輸送・補完機能を確保するため、耐震強化岸壁の整備等により臨海部防災拠点機能を強化。



津波・高潮による二次災害の防止『放置艇対策』

・景観上・船舶航行上の問題だけでなく、津波や高潮時に背後地の被害を増幅させる要因となる放置艇対策を推進



取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

日本のまんなかを守る風水害対策

多発する傾向にある突発的な豪雨、高潮、台風等の被害を抑制するため、ゼロメートル地帯、多雨地域等における社会資本の防災機能を強化する

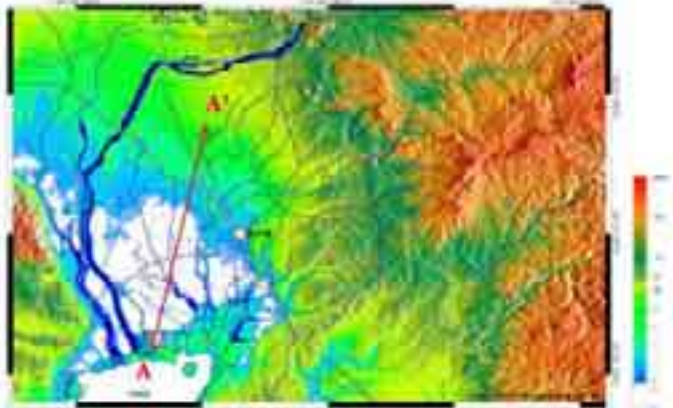
目的: 風水害による被害の抑制

手段: 社会資本の防災機能の強化

背景・課題

- ・突発的な豪雨、高潮、台風等による災害の発生が多発する傾向にある。
- ・中部は、三重県紀勢地域等の多雨地域における地域の孤立、わが国最大のゼロメートル地帯における大規模水害が危惧される。

濃尾平野は、わが国最大のゼロメートル地帯（395km²、全国の33%）



資料提供: 東京大学大学院総合文化研究科教養学部 清野研究室

突発的な豪雨、高潮、台風等による被害を最小限に抑制するための取組みが必要である。

主要事業

伊勢湾台風から半世紀を迎えて、
元気な中部を海から守る 『伊勢湾沿岸高潮対策』

- ・昭和28年台風13号や昭和34年伊勢湾台風を契機に整備され、その他老朽化した海岸保全施設を、耐震性や環境・利用にも配慮しつつ大改修
- ・広域地盤沈下により沈下した高潮堤防の整備を図り、高潮による被害の軽減を図る。



名古屋港



木曾川左岸「三重県木曾岬町」

“中部の中核”名古屋を高潮災害から守る

『名古屋港堀川水門大改修』

- ・津波や高潮災害に対して“名古屋の楯”となっている堀川水門の自動化や老朽化したポンプ、排水機場の更新を実施



名古屋港海岸 堀川口地区

近年発生した災害に対する再度災害防止対策により浸水被害を軽減

『床上浸水対策特別緊急事業』

『河川激甚災害対策特別緊急事業』

- ・近年頻発している豪雨災害に対する、再度災害防止対策として、床上浸水対策特別緊急事業等を実施し、浸水被害の軽減を図る。



伊勢市辻久留米地先

宮川「三重県伊勢市」
(平成16年9月台風21号)

取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

日本のまんなかを守る風水害対策

多発する傾向にある突発的な豪雨、高潮、台風等による被害を抑制するため、ゼロメートル地帯、多雨地域等における社会資本の防災機能を強化する

目的: 風水害による被害の抑制

手段: 社会資本の防災機能の強化

背景・課題

- ・突発的な豪雨、高潮、台風等による災害の発生が多発する傾向にある。
- ・中部は、三重県紀勢地域等の多雨地域における地域の孤立、わが国最大のゼロメートル地帯における大規模水害が危惧される。



資料提供: 東京大学大学院総合文化研究科教養学部 清野研究室

突発的な豪雨、高潮、台風等による被害を最小限に抑制するための取組みが必要である。

主要事業

治水ボトルネックの解消に向けて

『河川のボトルネック箇所対策』

- ・橋梁の桁下が堤防よりも低い箇所など、洪水流下能力上のボトルネックとなっている橋梁の架替事業を実施し、浸水被害の軽減を図る。



庄内川(一色大橋)「名古屋市」
(H12.9東海豪雨時の状況)

大規模な土砂災害から地域を守る

『砂防事業』

- ・中部地方には、重荒廃地域とよばれる下流域に大規模な土砂流出をもたらす危険性が高い山地が存在。
- ・これらの地域で重点的に砂防事業を実施し、土砂災害から地域を守る。

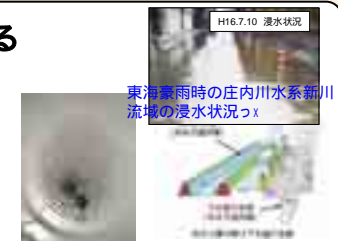


長野県伊那市(S57災害の状況)

もう怖くない東海豪雨! 都市水害からまちを守る

『河川整備』と『下水道整備』

- ・河川管理者、下水道管理者、地元市町村が連携してハード・ソフト一体となって対策を推進し、都市水害からまちをまもる。
- ・都市型浸水(内水氾濫)から生命・財産や都市機能を守るため、雨水貯留浸透施設、雨水下水道管、貯留管等を整備、浸水ハザードマップの作成



救急活動や緊急物資輸送の途絶を防ぐ

『道路法面等の防災対策』

- ・突発的な風水害による災害の防止、また災害時の救急活動等に伴う安全・安心な道路を確保するため、道路法面等の防災対策を実施。



道路法面防災対策

取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

渇水に強い地域づくり

近年、頻発する傾向にある渇水に対応するため、水資源の供給機能を強化する

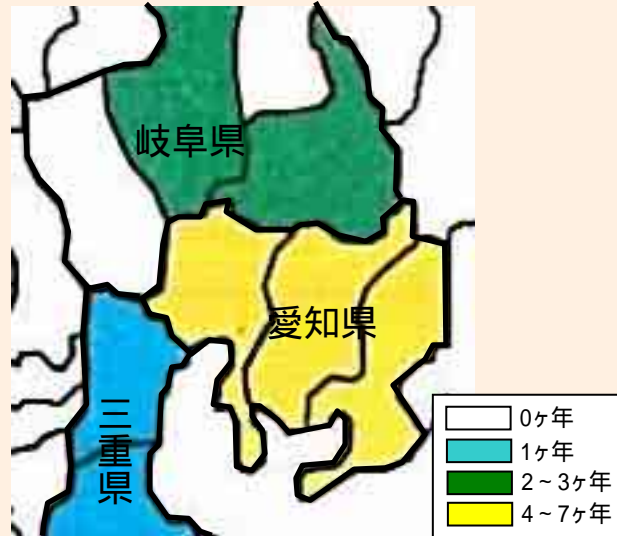
目的: 渇水被害軽減

手段: 水資源安定供給機能の強化

背景・課題

- 近年、少雨化により渇水が頻発する傾向にあり、特に、平成6年の夏は大渇水となり甚大な被害が発生している。

最近20カ年で渇水の発生した状況



1986～2005年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものの
(出典:平成18年度版 日本の水資源に一部加筆)

中部の発展に欠かせない水資源の安定した供給が必要である。

主要事業

関東の霞ヶ浦、関西の琵琶湖に相当する中部の水瓶

『徳山ダム建設事業』

水の広域ネットワークで渇水をなくす

『木曽川水系連絡導水路』

- 徳山ダムでは、岐阜県、愛知県、名古屋市の都市用水として新たに毎秒6.6トンの取水を可能とする。これにより、木曽川水系全体の水資源開発施設により少雨化傾向にある近年においても10年に1度発生する規模の渇水に対して安定的に都市用水を供給することが可能となる。
- また、平成6年のような異常渇水時には、徳山ダムで確保する渇水対策容量の水を揖斐川・長良川・木曽川に供給することで、河川の瀬切れ解消など河川環境の改善を図るとともに、既得用水の安定的な取水を可能とする。
- 木曽川水系連絡導水路は、徳山ダムで開発された都市用水と渇水対策容量を揖斐川から長良川・木曽川に導水する施設であり、日本一の総貯水量を有する徳山ダムの水を用いて、中部地方の安定した水資源の供給と河川環境の改善を可能とする。



東三河の渇水対策

『設楽ダム建設事業』

- 毎年のように(近年10年に11回)渇水被害に見舞われている東三河地域の渇水を軽減する。



取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

国土の異常な浸食、堆砂、山地崩壊の抑制

河川・海岸線の保全・再生のために、既設ダムの洪水調整機能を確保するとともに、下流域へのスムーズな土砂移動を確保し、健全な流砂系を回復する

目的: 健全な流砂系の回復

手段: 上下流の事業連携

背景・課題

- ・南・中央アルプスなどの山岳地帯を水源にもつ中部は、河川が急勾配であり、また、中央構造線など様々な断層が混在するため、もろい地質構造になっている。
- ・天竜川など全国有数の土砂生産量の多い水系が存在している。
- ・既設ダムにおいて土砂堆積が進行し、洪水調節機能の低下が懸念されるとともに、海岸の侵食が進行している。



土砂移動の滞りによる河川・海岸侵食、既設ダムの洪水調節機能の低下による災害発生の危険性を抑制するために、健全な流砂系の回復が必要である。

主要事業

下流への土砂供給をスムーズにする砂防事業

『透過型砂防堰堤の整備』

- ・異常な山地崩壊による土砂流出を抑制し、平常時には、下流へ出来るだけ土砂を流す。

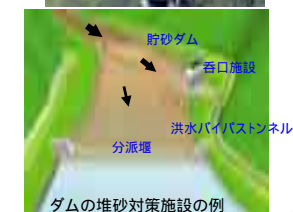


土砂環境の復元へ向けた取組

既存ストックのリフレッシュ(天竜川)

『天竜川ダム再編事業』 『小渋ダム堰堤改良事業』

- ・既設ダムに新たな治水機能の確保、機能維持し洪水防御推進。
- ・あわせて土砂移動の連続性を確保又は、減機能を維持し土砂環境等の復元を推進。



海岸線の再生 砂浜の養浜事業

『海岸侵食対策』

- 海岸侵食が著しい海岸において、養浜工を実施し、前浜を確保する。



養浜(富士海岸)

取組1: 貴重な生命・財産・産業拠点等を守る備えを充実

森林の荒廃抑制

森林のもつ公益的機能を保全・回復のために、流域圏で一体となった森林の荒廃抑制に取り組む

目的: 森林の持つ公益的機能の保全・向上

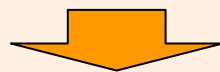
手段: 森林の荒廃抑制対策

背景・課題

- ・社会的、経済的な要因によって森林の荒廃が進行する状況にある。
- ・森林の荒廃により、土砂流出防止機能、生物多様性保全機能など、森林のもつ公益的機能が失われつつある。



出典: 静岡県環境政策室



森林の公益的機能を保全・回復するため流域圏で一体となった森林の荒廃抑制のための取り組みが必要である。

主要事業

森林の荒廃を防ぎ地域を守る

『砂防事業』

- ・地域住民との樹林整備により樹木の生育環境を整え、山麓斜面における土砂災害に強い樹木を育成する。
- ・生活に憩いをもたらす自然景観を保全する。

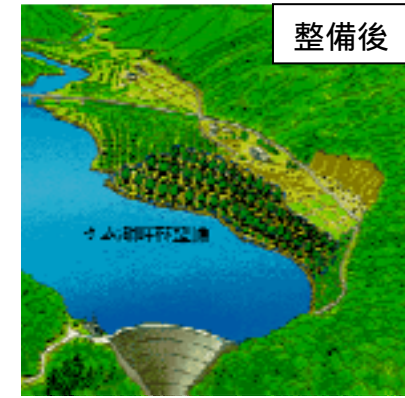


笠原の森 (多治見市)

ダム湖畔の荒廃を防ぎ湖を守る

『ダム湖畔林の整備』

- ・ダム湖周辺の荒廃地から土砂流入による水質汚濁を回避するため、ダム湖畔に樹林帯を整備する、



取組2：被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えの充実

高規格幹線道路のダブルネットワーク化

被災からの速やかな災害復興に向け、複数のルート選択が可能な安全性の高い緊急輸送路を確保するため、複層の道路ネットワークを構築する

目的：災害発生後の機動性の確保

手段：複層構造の道路ネットワークの構築

背景・課題

- ・災害発生時には、様々なライフラインが被災し、避難誘導、救助活動や復旧活動等に支障をきたす可能性がある。
- ・また、復旧後、速やかに災害復興活動に移行するためには、安全性の高い輸送路が確保されている必要がある。



神戸市ホームページより

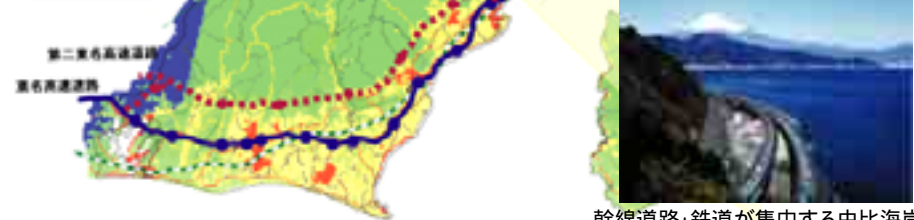
被災からの迅速・円滑な復旧・復興を可能とする高規格幹線道路のダブルネットワーク化が必要である。

主要事業

災害時の迂回路として機能する高速道路ネットワーク
『第二東名・名神高速道路、都市圏環状道路等の整備』

一般道が災害などにより通行不能の際、地域住民や緊急車両通行のための代替ルートを確保するため、大規模災害時に地域に貢献する広域幹線道路網の整備が必要

名高速道路は最新の知見を用い設計を採用。地理的にも東海地震が比較的小さいと想定されるを通過。



幹線道路・鉄道が集中する由比海岸

取組2：被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えの充実

災害に強い重要交通網の保全

災害に起因する国土軸の寸断による社会活動への影響を防ぐために、災害に強い交通網を保全・強化する

目的：災害時の安全性の向上

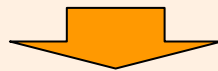
手段：重要交通網の防災機能強化

背景・課題

- 東京～名古屋～大阪間は、我が国の社会経済活動の大動脈であり、被災時に、交通網が寸断すると、復旧・復興活動にも多大な影響を及ぼすこととなる。



日本の主要な動脈が集中する瀬戸内海沿岸



被災によって、わが国の国土軸が寸断されることのないよう災害に強い交通網の形成・確保が必要である。

主要事業

東京～名古屋間の寸断を防ぐ

『由比地すべり対策事業』

- 由比地区は東名高速道路、国道1号、JR東海道本線など日本の東西を結ぶ主要な交通網や情報通信網が通り、豪雨や地震時に大規模な地すべりが発生した場合には、交通網や重要なネットワークに大きな被害を与える恐れがある。



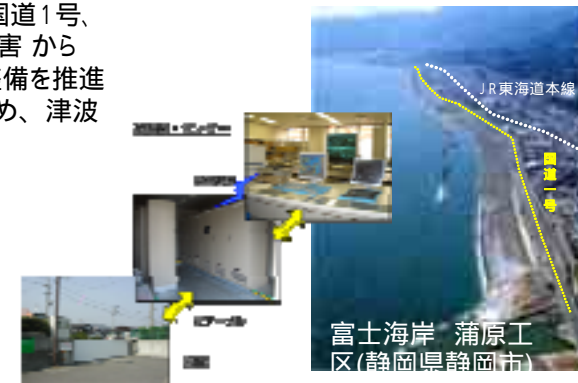
由比地すべり地区

我が国の国土軸を保全 『駿河湾沿岸の津波高潮対策』

- 我が国の基幹交通網となっている国道1号、JR東海道本線等を高潮等による被害から防御するため、有脚式離岸堤等の整備を推進
- 津波や高潮から国土軸を守るため、津波防災ステーションを整備する



清水港海岸



富士海岸 蒲原工区(静岡県静岡市)

取組2：被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えの充実

災害情報ネットワークの整備

大規模地震、風水害等発生時における避難誘導・救助活動などに活用できる防災情報を円滑に提供するため災害情報のネットワークを整備する

目的：復旧活動等の円滑な実施

手段：災害情報(提供)ネットワーク化

背景・課題

- ・災害時に、だれもが、避難誘導・救助活動及び復旧活動に関する情報を入手することを可能とすることが不安解消の一助となる。
- ・情報化社会の進展に対応した災害情報の提供システムを強化することが重要である。



災害発生時において、だれもが必要な防災情報を入手できるように、災害情報ネットワークを整備する必要がある。

主要事業

広がる防災ネットワーク

『光ケーブルネットワーク整備』

国土交通省が整備する光ケーブルネットワークを利用することで、光ケーブルの特性である高速で大容量の通信を活かし河川の出水映像や水位データ等の情報共有を図ると共に、よりわかりやすい情報の住民への提供のため、インターネットを通じて、一般へ情報提供する。



ネットワークイメージ

地上デジタル時代の新たな防災情報

『地上デジタル放送向け情報提供システムの整備』

- ・今後の地上デジタル放送の普及に合わせ、データ放送を利用して、よりの確な防災情報をリアルタイムに提供する。
- ・各家庭に必ずあるテレビというデバイスにより、プッシュ型サービスによる確実な情報伝達や、容易な操作性により、高齢者等のデジタルデバイドを解消する。



データ放送イメージ

取組2：被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えの充実

適切な災害情報の提供

大規模地震、風水害などの災害発生時における避難誘導・救助活動、災害復旧を迅速かつ円滑に実施するため適切な災害情報を提供する

目的：復旧活動の円滑な実施

手段：災害情報の提供

背景・課題

- ・近年、風水害、大規模地震などの発生及びそれらが同時におこる複合型災害の発生が危惧されている。
- ・発災時に、迅速かつ円滑な災害応急活動を行う必要がある。



発災時における避難誘導・救助活動、緊急復旧などを迅速かつ円滑に実施するために、適切な災害情報の提供が必要である。

主要事業

高潮災害に備えた防災情報の発信

- 『高潮予測システムの構築』
- ・気象庁の高潮予測に加え、打上げ波高を考慮した堤防越波予測を実施し、防災情報としての発信を行っていく。



気候変動による集中豪雨をとらえる

- 『レーダ雨量計の更新』
- ・レーダ更新時期に合わせ、Xバンド方式やマルチパラメータ方式などの局所豪雨を把握するための高性能レーダを導入する。



防災情報の充実で迅速・的確な災害対策の実施

- 『光ケーブルネットワーク整備』（再掲）
- ・高速大容量の光ケーブルネットワークによる防災情報の共有。
 - ・わかりやすい情報として、住民への情報提供。



地上デジタル時代の新たな防災情報

- 『地上デジタル放送向け情報提供システムの整備』（再掲）
- ・地上デジタル放送の普及と合わせ、データ放送部分への防災情報の提供の取組みを実施。



広域的な波浪観測態勢の構築による沿岸域の安全確保

- 『GPS波浪計を活用した沖合波浪観測網の構築』
- ・GPS波浪計により取得した沖合波浪情報を活用し、沿岸への到達の数分前に津波情報を提供し、沿岸域での津波対策に迅速に対応
 - ・濃尾平野は、高潮による被害の恐れが高いとされている湾口が南側に開いている湾内の湾奥に位置する。過去、高潮による激甚な被害が発生。そのため高潮予防警報システムを整備



取組2：被災からの迅速な復旧、復興を可能とする備えの充実

被災時の生活と産業活動を支える基盤づくり

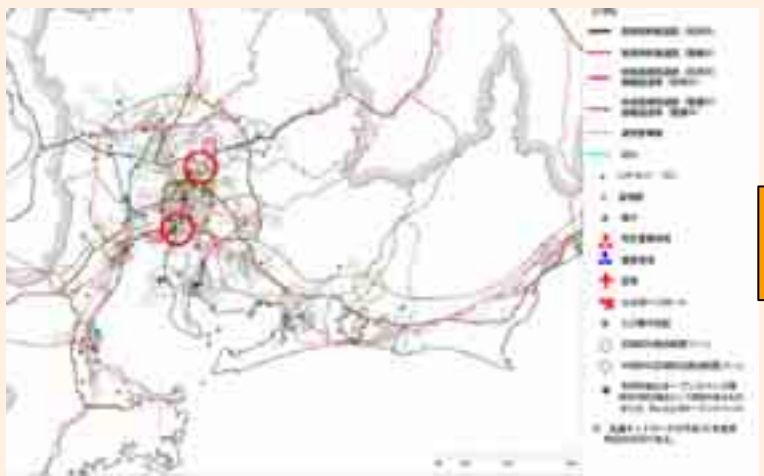
災害発生時における生活や産業活動への影響を極力軽減し、復旧・復興が円滑に進められるようにするための防災基盤づくりにより、生活と産業の防災機能の強化・充実を図る

目的：災害の生活や産業活動への影響軽減

手段：社会資本の防災機能強化

背景・課題

- ・災害発生時には、生活や産業活動の混乱が予想される。
- ・風水害・津波などによる被害を極力軽減することが求められている。



出典：名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想



被災時の生活や産業活動への影響を極力軽減するため、広域的な災害に対応できる防災機能を強化・充実する必要がある。

主要事業

どんなときも中部の暮らしと産業を支えるために

- 『臨海部防災拠点機能の強化』
- ・被災時の避難者の移動と緊急物資の輸送・補完機能を確保するため、耐震強化岸壁の整備等により臨海部防災拠点機能を強化。



臨海部防災拠点イメージ

市民の生命、財産を水際で守る津波防災機能の充実

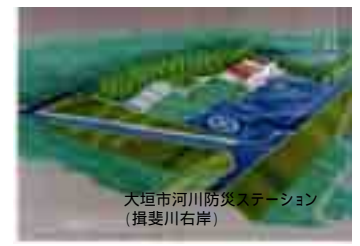
- 『津波防災ステーション整備』
- ・発生が危惧される東海・東南海地震等による津波災害から住民の生命・財産を守る陸開・水門を一斉に閉鎖できる津波防災ステーションを整備



相良港海岸

水防・災害復旧の集中基地

- 『河川防災ステーション整備』
- 「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積の確保



大垣市河川防災ステーション (揖斐川右岸)

まちの身近な公園を、いざというときの避難地、復旧・復興の拠点に

- 『防災公園の整備』
- ・地震災害時において、避難地・避難路、復旧・救援活動拠点、延焼防止帯、帰宅行動支援の場など、多様な役割を担う都市公園を緊急かつ計画的に整備



テントによる宿泊避難場所に利用 (新潟県中越地震時)

取組3：だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消

耐震インフラの事前情報提供

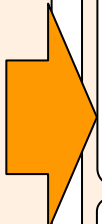
被災時にも安心して避難・復旧活動等が行なえるよう道路、港湾などの耐震性能に関する情報を事前に提供する

目的：防災意識の向上

手段：社会資本耐震性能情報提供

背景・課題

- ・大規模地震の発生や突発的な集中豪雨が頻発する傾向にあるなか、災害に関する日常的な不安が高まりつつある。
- ・災害発生前から、道路、港湾などのインフラの耐震性等の情報を入手できることは、被災時のリスク管理の一助となる。



発災時に避難路等となる道路、港湾などのインフラの耐震性能に関する情報を提供する必要がある。

主要事業

道路の耐震性能情報はワンストップで手軽に入手

『橋梁耐震補強マップの公表』

大規模地震時における救助・救援活動や、緊急物資輸送のために極めて重要な役割を担っている、緊急輸送道路の耐震補強取組み状況を、地図に表記してインターネットのホームページ上に公表



港のどこに運ばよいかわかります

『港湾施設の被災情報発信』

- ・被災時の緊急物資・復旧資機材の最適輸送に役立つ、港湾施設の被災情報（利用可否情報）を発信し、物流機能の災害対応力を強化



神戸港

取組3：だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消

公共施設のユニバーサルデザイン

高齢者や障害者など、だれもが平等に社会活動を行うことが可能となる環境を形成するために、さまざまな社会活動に関わる公共施設のユニバーサルデザイン化を進める

目的：すべての人の社会参加を可能とする社会の実現

手段：ユニバーサルデザイン化

背景・課題

- ・わが国は、世界的にも類を見ない急速な速度で高齢社会を迎えつつあり、高齢者が社会活動しやすい環境形成が求められている。
- ・また、バリアフリー新法も施行され、障害者を含めて、だれもが、社会参加しやすいよう、ユニバーサルデザインによる空間形成が求められている。



だれもが、安全で円滑に移動でき、様々な社会活動に係われるよう、公共施設のユニバーサルデザイン化が必要である。

主要事業

交通結節点のユニバーサルデザイン化

『交通結節点整備』

『バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業』

歩道の段差解消や電線の地中化を行うなど、高齢者や障害者などの社会参加を支援し、すべての利用者にとって使いやすく安全快適な道路空間の整備を実施。



ユキピタスネットワークを活用した自律移動支援

『おもいやりナビ実証実験事業』

すべての人が社会参画にあたり必要となる「移動経路」「交通手段」「目的地」などの情報を「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスでき、情報を取得できる環境を利用し、歩行者の状況や身体状況に応じた最適な移動支援情報を提供するための実証実験を実施。



取組3：だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消

公共施設のユニバーサルデザイン

高齢者や障害者など、だれもが平等に社会活動を行うことが可能となる環境を形成するために、さまざまな社会活動に関わる公共施設のユニバーサルデザイン化を進める

目的：すべての人の社会参加を可能とする社会の実現

手段：ユニバーサルデザイン化

背景・課題

- ・わが国は、世界的にも類を見ない急速な速度で高齢社会を迎えつつあり、高齢者が社会活動しやすい環境形成が求められている。
- ・また、バリアフリー新法も施行され、障害者を含めて、だれもが、社会参加しやすいよう、ユニバーサルデザインによる空間形成が求められている。



だれもが、安全で円滑に移動でき、様々な社会活動に係われるよう、公共施設のユニバーサルデザイン化が必要である。

主要事業

みんなが使って、みんなが楽しい 多様な活動を支える場

『国営木曽三川公園事業』

高齢者、障害者を含む全ての人々に、緑豊かで安全・快適な公園空間を提供するために、園路や主要施設などのバリアフリー化を進めるとともに、健康づくりや機能回復などの活動ができる公園の整備を実施。



手すり付き緩傾斜坂路の設置

『福祉の川づくり事業』

高齢者や移動制約者、だれもがいつでもあたり前に、安心してくつろげる水辺空間の創出。



庄内川(土岐川)右岸
(岐阜県多治見市内)

ストレスフリーなみなとの実現

『港湾におけるユニバーサルデザイン化の推進』

・安全に、身体的負担の少ない方法で人々が集えるよう、みなとのユニバーサルデザイン化を推進。



バリアフリー棧橋(愛称:マンボウ)蒲都市

取組3：だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消

交通安全対策

交通事故件数、交通死者数、船舶航行の阻害要因の減少に向けて、さらなる交通安全対策を推進する

目的：交通事故件数の減少

手段：交通事故多発地域、事故要因の解消

背景・課題

- ・交通死者数は減少する傾向にあるが、中部地方の各県とも全国ワースト20位以内に入っており、特に愛知県はワースト1位となった。
- ・一方、交通事故件数は、全国的に高い水準にあるため、重点的に事故件数そのものを減少させていくことが求められている。
- ・また、水域においては、放置された船舶が安全な船舶航行の阻害要因となっている。



交通事故発生要因を明確にし、交通事故多発地域、事故要因の解消による重点的交通安全対策が必要である。

主要事業

交通事故多発地域から交通安全先進地域へ

『交通安全施設等整備事業』

交通死亡事故の発生要因を分析し、早期効果が期待できる対策(ラバーポール、自発光錐、高輝度標識)を実施。



放置艇の解消で海上交通も安全に

『放置艇対策』(再掲)

・景観上・船舶航行上の問題だけでなく、津波や高潮時に背後地の被害を増幅させる要因となる放置艇対策を推進



名古屋港南5区

取組3:だれもが「安心」して暮らせるようひとつひとつ不安を解消

テロ対策

社会経済活動を支える基幹インフラの保安面での安全性を確保するため、セキュリティ機能の強化(テロ対策)を推進する

目的:社会資本の保安上の安全性確保

手段:セキュリティ機能の強化

背景・課題

- ・ 米国同時多発テロ、マドリード列車爆破事件、ロンドン同時爆破テロなど世界各地で無差別なテロ事件が続発している。
- ・ これらは、多くの人々が利用する交通機関等で発生しており、利用時の安全性を確保することが喫緊の課題となっている。



名古屋港におけるテロ対策合同訓練



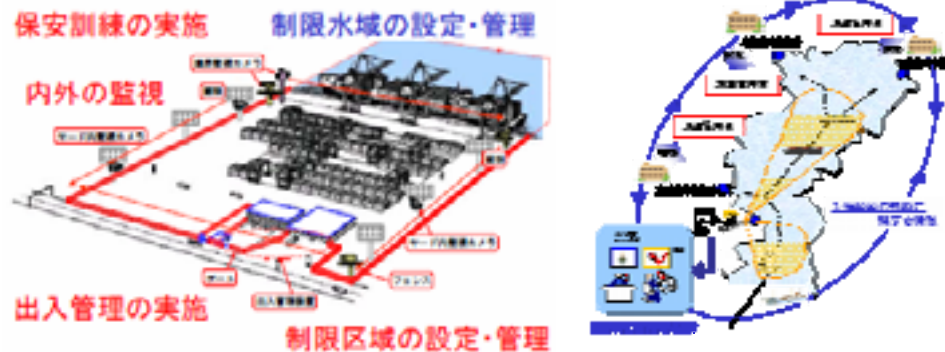
名古屋港における出入管理の状況

社会経済活動を支える道路、空港、港湾、ダム、発電所等の基幹インフラのセキュリティ機能等、テロ対策が必要である。

主要事業

テロ行為 - みなとでキャッチ 『国際港湾施設の保安確保』

- 「自己警備側」と「事態対処側」との連携強化
SOLAS管理者との協働体制の構築、整備局による指導
- ・ 船舶動静・問題船の把握と関係機関への通知（船舶保安情報等の受発信）
- ・ 情報ネットワークを活用した危機管理体制の構築
- ・ 国際埠頭施設への立ち入り検査
- ・ 総合訓練の実施に関する指導、助言
- ・ 全国共通出入管理システムの構築・運用
- ・ 有事法制への的確な対応



国際港湾施設の保安対策イメージ

取組4：安心して利用できるインフラの適切な維持・管理・更新

既存ストックの有効活用

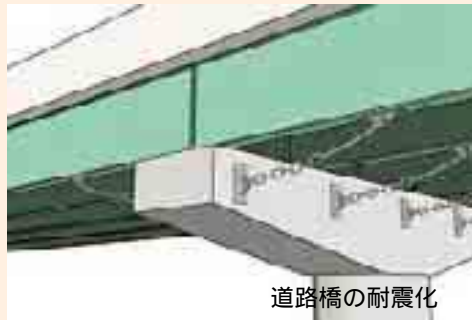
既存インフラの機能を最大限発揮させるため、厳しい財政状況のもと、適切な維持・管理に取り組むなど、既存ストックの有効活用を進める

目的：社会資本への要求性能の確保

手段：適切な維持・管理

背景・課題

- ・国、地方とも厳しい財政状況となっており新たな投資への制約が顕在化している。
- ・また、これまで蓄積した社会資本ストックは相当な規模になっているため、これらへの適切な維持・管理とともに、今後、社会資本の老朽化に伴う、施設の更新等が必要となってくる。



道路橋の耐震化

既存インフラの機能を最大限発揮するための適切な維持・管理・更新を進める必要がある。

主要事業

パワーアップ 木曽川の水瓶

『新丸山ダム』

・既設丸山ダムの機能を維持し続けながら高上げし、木曽川の洪水防御や発電機能を強化し、河川環境の改善、既得用水の取水の安定化を推進する。



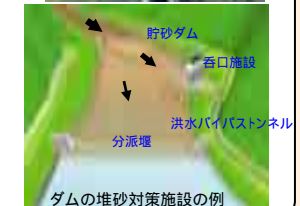
土砂環境の復元へ向けた取組

既存ストックのリフレッシュ（天竜川）

『天竜川ダム再編事業』

『小浜ダム堰堤改良事業』（再掲）

・既設ダムに新たな治水機能の確保、機能維持し洪水防御推進。
・あわせて土砂移動の連続性を確保又は、減機能を維持し土砂環境等の復元を推進。



ダムの堆砂対策施設の例

取組4：安心して利用できるインフラの適切な維持・管理・更新

既存ストックの有効活用

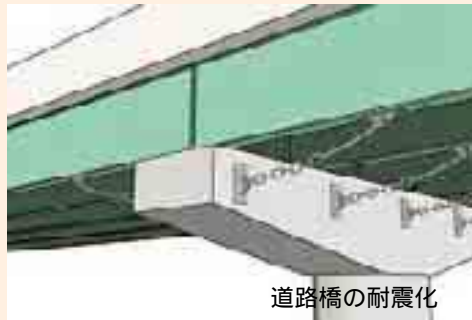
既存インフラの機能を最大限発揮させるため、厳しい財政状況のもと、適切な維持・管理に取り組むなど、既存ストックの有効活用を進める

目的：社会資本への要求性能の確保

手段：適切な維持・管理

背景・課題

- ・国、地方とも厳しい財政状況となっており新たな投資への制約が顕在化している。
- ・また、これまで蓄積した社会資本ストックは相当な規模になっているため、これらへの適切な維持・管理とともに、今後、社会資本の老朽化に伴う、施設の更新等が必要となってくる。



道路橋の耐震化

既存インフラの機能を最大限発揮するための適切な維持・管理・更新を進める必要がある。

主要事業

社会資本の延命化『道路構造物のアセットマネジメント』

・橋梁等社会資本の適切な予防保全を実施することで維持・管理費の縮減、社会資本の延命化を図る。



トンネル点検



(対策後)



(対策前)

生活の必需品 下水道のリニューアル&パワーアップ

『下水道の耐震化・高度化』

・下水道管路の老朽化に起因する道路陥没を防止&処理場の高度処理化や耐震性を向上



みなとの機能をいつも新鮮に『港湾施設の維持・管理』

・海中に存在するため点検・診断が困難という港湾の特性をふまえ、適切に点検・診断を実施し、計画的に施設の維持・管理を実施



名古屋港(国際海上コンテナターミナル)

取組4：安心して利用できるインフラの適切な維持・管理・更新

施設の計画的かつ効率的更新

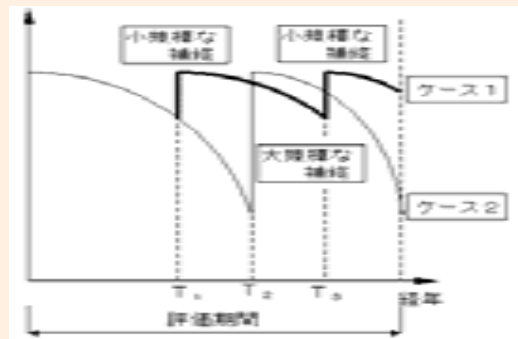
厳しい財政状況の下、近い将来到来する既存ストックの更新時代に備え、施設の計画的かつ効率的な更新を実施する

目的：社会資本への要求性能の確保

手段：計画的かつ効率的な更新

背景・課題

- ・国、地方とも厳しい財政状況の下、社会資本への投資費用を抑制する傾向にある。
- ・高度成長時代に整備された社会資本は、近い将来更新時期を迎える。
- ・このような中で、今後、社会資本の老朽化に伴う社会経済活動への影響を極力回避するため、計画的に既存ストックの更新を行なう必要がある。



近い将来更新時期を迎える既存ストックの計画的かつ効率的な更新を実施する必要がある。

主要事業

計画的な補修及び更新計画の立案『橋梁点検』

・橋梁等社会資本の適切な点検を実施することで、社会資本の計画的かつ効率的な補修、更新計画を立案する。



リフレッシュで内水被害ゼロをめざして『排水機場更新』

・全面更新していた施設を部品毎の劣化・耐久性診断により更新コストを縮減。



修繕後羽根車
(糸貫川天王川排水機場)

みなとのバージョンアップ『港湾施設の計画的更新・改良』

・防波堤、岸壁など多種多様な施設から構成され、海中に存在するため点検・診断が困難という港湾の特性をふまえ、適切に点検・診断を実施
・点検・診断結果に基づき、既存港湾施設を計画的に更新し、必要に応じ改良を実施



上部工の劣化状況
田子の浦港(多目的国際ターミナル)

中部の成長を支えるために

《成長力》

現状・特性

中部地方には、わが国を代表する港湾・空港施設や、日本の大動脈を担う東名・名神高速道路、東海道新幹線などの基幹的な社会資本が集中している。

また、自動車産業をはじめとした輸送用機械器具製造業の事務所集積数は全国の約4割のシェアを占めるなど、モノづくりの拠点が中部に集積する、日本の産業首都圏である。

これらの状況からも、東西交通の要衝であり、日本の経済・産業を牽引する中部のモノづくり産業を支えるインフラ整備を進めることは、日本の産業競争力の向上させるうえで重要な役割を担っている。



一方、中部は産業観光資源をはじめ自然・歴史・文化など独自の地域資源を多数有しているが、観光資源が広く点在しており、十分に生かされていない地域である。空港・港湾・道路をはじめとする国際・国内ネットワークの充実等により、観光交流の拡大が望める。

そのためにすること

- 取組 1 陸・海・空の高速物流ネットワークを構築します。
- 取組 2 東西の大動脈の更なる強化を進めます。
- 取組 3 太平洋・日本海・内陸部を結ぶネットワークの強化を進めます。
- 取組 4 生産性を向上できるようなモノづくりの拠点を有機的に連絡します。
- 取組 5 農作物・モノづくりに不可欠な水の安定供給をおこないます。
- 取組 6 観光地としての中部の魅力を向上させます。
- 取組 7 モノづくりの技術を生かした道路交通のショーケースをつくります。

目指すべき姿

- ・産業首都圏として国際的に高い競争力を有する地域を目指します。
- ・産業観光資源をはじめ自然・歴史・文化など独自の地域資源を観光に活かすことのできる地域を目指します。
- ・ヒト、モノ、情報が海外と活発に直接交流する地域を目指します。

取組1:陸・海・空の高速物流ネットワークを構築

海と空の高速交通ネットワークの強化

拡大傾向にある国内外へのヒト・モノ・情報の移動効率性・円滑性を向上させるため、港湾、空港など、海と空の高速交通ネットワークを強化する

目的:国際的に通用する効率的な物流・人流ネットワークの構築 手段:海上・航空の高速交通ネットワークの強化

背景・課題

- 世界をリードするものづくり産業の存在、セントレア（中部国際空港）の開港など、中部地方から国内外へのヒト・モノ・情報の移動が拡大傾向。
- アジアや世界の物流と、中部地方と国際・国内との交流を支える高速交通ネットワークの強化が求められている。



国内外のものづくりを支え、増加するヒト・モノ・情報の移動に適切に対応するため、港湾や航路、空港の整備・活用を通じた海と空の高速交通ネットワークの強化が必要である。

主要事業

利用者のニーズに応えるスーパー中枢港湾

- 『伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクトの充実・深化』 四日市港(夜間荷役)
- アジア主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現を目指し、次世代高規格コンテナターミナル形成などの先導的施策の充実と深化を図る。
 - セントレア（中部国際空港）を活かした「Sea & Centrair」による輸送を支援する。



世界のものづくりを支える中部のみなと

- 『清水港、三河港などの整備』
- 世界をリードする中部のものづくり産業を物流面から支えるため、港湾や航路の着実な整備を通じ、早く・安く・安全・確実な海上輸送ネットワークを構築する。



もっと近くにセントレア

- 『中部国際空港海上アクセス』
- 増大する航空需要に対応し、24時間運用などによる中部国際空港の利便性強化に向けた取組として、伊勢湾内の海上アクセスターミナルの整備により、中部国際空港へのアクセス向上を図る。



しずおかの空、開きます

- 『富士山静岡空港の整備』
- 地域も大交流時代に直面するなか、国内外との直接交流の拠点として、快適な暮らしと産業の成長力を支える。



取組1:陸・海・空の高速物流ネットワークを構築

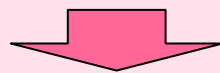
航路の整備（海のボトルネック解消）

中部のモノづくり産業のさらなる発展を支援するため、航路整備による海のボトルネックを解消し、伊勢湾海上ハイウェイネットワークを構築する

目的:国際的に通用する効率的な物流ネットワークの構築 手段:スーパー中枢港湾を中心とした海路(航路)整備

背景・課題

- ・国際的に通用する物流のコスト・サービス水準実現のため、陸・海・空が一体となった効率的な物流ネットワークの構築が必要となっている。
- ・全長200mを超える巨大船が多数行き交う伊勢湾では、航行規制のため航路外待機が発生している。



スーパー中枢港湾をはじめとする港湾の国際競争力強化のため、ハード・ソフト施策による海のボトルネック解消が必要である。

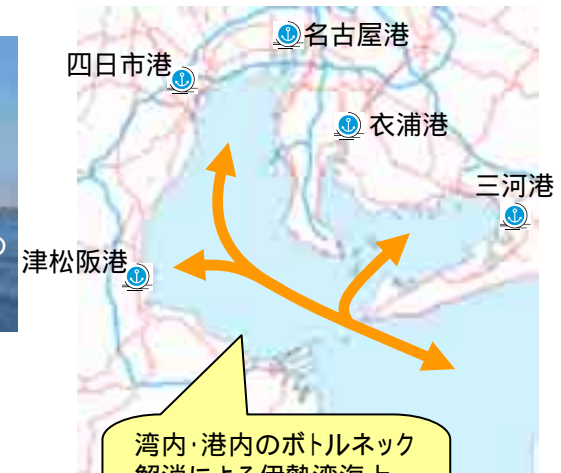
主要事業

中部の玄関 伊勢湾をよりスムーズに『航路整備』

- ・港内、湾内の航路整備により、海のボトルネックを解消し、伊勢湾海上ハイウェイネットワークを構築する。
- ・その際、規制緩和などによる航路環境の改善状況を見つつ、ハード施策だけでなく、ソフト施策による対応も検討する。



全長397m
17万800総トン
11,000TEU



湾内・港内のボトルネック解消による伊勢湾海上ハイウェイネットワークの構築

取組1:陸・海・空の高速物流ネットワークを構築

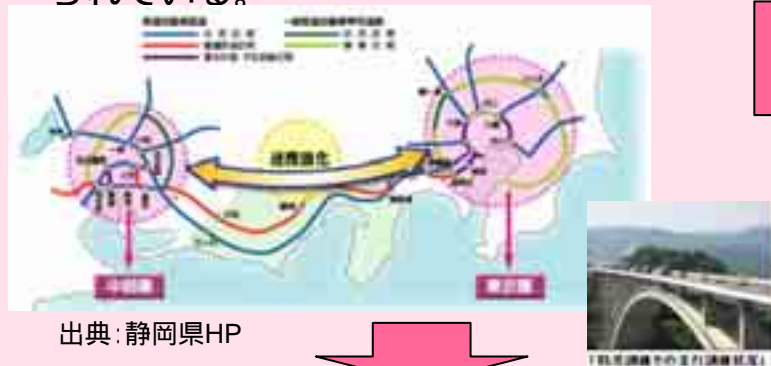
陸路のネットワーク整備（ボトルネック整備）

中部のモノづくり産業の更なる発展を支援するため、空港・港湾とのアクセス機能強化、陸路のボトルネックを解消する

目的:国際的に通用する効率的な物流ネットワークの構築 手段:拠点とのアクセス性強化、陸路のボトルネック解消

背景・課題

- 中部地方は、ものづくり産業を中心に東アジア地域等と密接に連携し、国際物流の規模を拡大しつつあるが、東アジア諸国での空港・港湾を中心としたインフラの規模拡大によって、国内物流の一層の効率化等の要請が高まっている。
- そのため、高速交通ネットワークを形成し、空港・港湾とのアクセス機能の強化が求められている。



出典:静岡県HP

国内陸上交通の迅速性、経済性を向上するため、陸路のボトルネックを解消し、国際標準の物流ネットワークを構築する必要がある。

主要事業

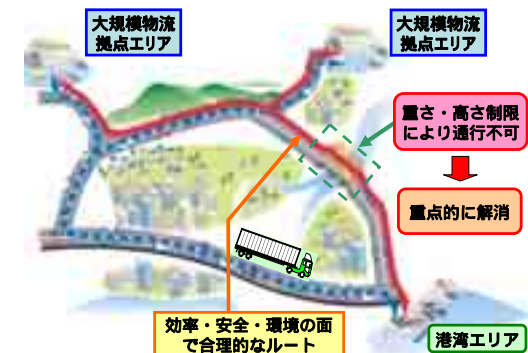
ものづくり先進国「日本」を支える中部の道路ネットワーク 『空港・港湾とのアクセス機能強化』

名古屋港や四日市港など主要な港湾等と主要物流拠点間を国際標準コンテナ車が積み替えなく輸送できる国際物流に対応した道路のネットワーク化を図る



国際物流基幹ネットワークの構築 『20ftコンテナ通行不能区間解消』

国際標準コンテナ車が重要な港湾等と大規模物流拠点を積み替えなく走行できる道路ネットワークの構築。
(= 重さ・高さ指定道路の拡大)



国際物流基幹ネットワーク構築イメージ

取組2:東西の大動脈の更なる強化

広域交通を分担する高速交通網の整備

東西交通の大動脈の更なる機能強化、規模拡大等の実現に向け、広域交通を分担する高速交通網を整備する

目的:大動脈の更なる機能強化

手段:広域交通を分担する高速交通網整備

背景・課題

- ・中部地方は、東西交通の大動脈の要衝としてその機能を維持強化する役割を担う。
- ・また、自動車産業等ものづくりの中心地として国内物流を日々支えている。



鹿島HPより

東西大動脈の更なる機能強化、規模拡大等の実現するため高速交通網の強化が必要である。

主要事業

高速交通網の整備

『第二東名・名神の整備』

3大都市圏の連携を強化するとともに、日本の大動脈を担う東名・名神高速道路と一体となって、信頼性、安定性の確保を図り、東西軸の要となる第二東名・第二名神の整備を引き続き推進する



取組3：太平洋・日本海・内陸部を結ぶネットワークの強化

潜在的な力を秘める「環日本海経済圏」と「太平洋経済圏」の連携強化

中国、ロシアと近接な「環日本海経済圏」と「太平洋経済圏」との連携強化の推進に向け、中部と北陸を有機的に繋ぐ南北の道路ネットワークを強化する

目的：経済圏の拡大

手段：南北の道路ネットワーク強化

背景・課題

- 世界規模での経済のグローバル化によって、市場経済が拡大するなか、特に、BRICS（新興経済国）の目覚ましい経済発展等もあって、中国、ロシアと地理的に近接した北陸地域等などにおいて「環日本海経済圏」の形成が志向されている。
- また、国土形成計画においても北陸地域と中部地域の連携が期待され、「環日本海経済圏」と「太平洋経済圏」との連携を強化していく必要がある。



出典：NEXCO HP

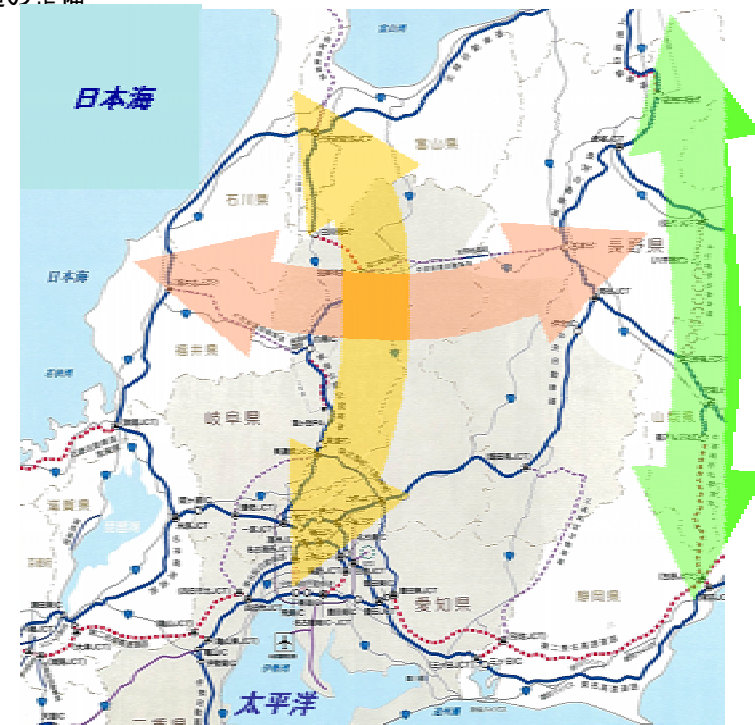
太平洋・日本海・内陸部を有機的に繋ぐ道路ネットワークの形成が必要である。

主要事業

太平洋と日本海を直結

『中部を縦横断する高規格道路の整備』

太平洋と日本海を結ぶ中部横断自動車道、東海北陸自動車道、内陸部を連携する中部縦貫自動車道の整備



取組4：生産性を向上できるようなものづくりの拠点を有機的に連絡

規格の高い幹線道路の整備

既存産業の技術革新、IT、環境、航空宇宙等先端産業の創出によるあらたな産業拠点の立地誘導にも寄与する、拠点間を有機的につなぐ世界水準の交通ネットワークの形成を目指す

目的：新規産業拠点立地誘導

手段：世界水準の交通ネットワークの形成

背景・課題

- 自動車産業や液晶パネルなどの製造拠点の集積は、中部の高い産業競争力の源泉となっており、今後も既存産業の技術革新などに伴う更なる操業規模の拡大が見込まれる。
- また、IT、環境、航空宇宙、バイオ、ナノテク等先端産業の創出に向けた研究開発が進められている。



既存産業の技術革新、先端産業の創出等による産業拠点の立地誘導にも寄与する、産業拠点間を繋ぐ交通ネットワークの形成が必要である

主要事業

中部の高速道路ネットワークを世界標準に！

『高規格道路網の整備』
 欧米各国と比較すると、高速道路と港湾との直結及び10分カバー率は半分以下。港湾からのアクセス性を欧米並にすることにより、物流交通の円滑化、産業の活性化を支援するためにネットワークの整備を促進。



東部から西部へ！産業立地や地域自立を促す

『東海環状ものづくり回廊』
 東海環状東部区間開通後、工業団地への企業立地が好調。進出企業のサポート、新たな企業立地の誘導を目指し、西部区間の整備を促進。



2004年度（開通時）の工業団地進出状況

取組5：農作物・ものづくりに不可欠な水の安定供給を行う

国民生活、産業を支える水の安定供給

国民の生活、生産活動を支える水の安定供給を行うために、水資源の貯留、導水機能の維持・強化に取り組む。

目的：水資源の確保・安定供給

手段：貯留・導水機能強化

背景・課題

- 中部地方は、急峻な山岳地形を有する地理的特性を活かして、多くのダムで発電しエネルギー供給を行っている。
- また、モノづくりに不可欠な工業用水の供給、キャベツ、ハクサイ等農作物を栽培し東京、大阪等の大消費地に供給している。一方、平成6年の渇水等では工業や農業に多大な被害が発生した。



国民生活、生産活動を支える水の安定供給を行うために水資源の貯留、導水機能の維持・強化が必要である。

主要事業

関東の霞ヶ浦、関西の琵琶湖に相当する中部の水瓶

『徳山ダム建設事業』（再掲）

- 岐阜県、愛知県、名古屋市の都市用水として新たに毎秒6.6トンの取水を可能とする。



徳山ダム (H18.10.6撮影)

水の広域ネットワークで渇水をなくす

『木曽川水系連絡導水路』（再掲）

- 異常渇水時に徳山ダムで開発する水を揖斐川から長良川・木曽川へ導水し、河川の瀬切れ解消など河川環境の改善を図るとともに、併せて愛知県・名古屋市の都市用水を導水する。



パワーアップ 木曽川の水瓶

『新丸山ダム』

- 既設ダムの嵩上げ、木曽川の洪水防御、河川環境の改善、既得用水の取水の安定化を推進。



新丸山ダム

東三河の農業・工業・地域を安定に潤す

『設楽ダム』

- 渇水が頻発する東三河地域での既得用水の取水の安定化を図るとともに、新規利水開発を行い、地域の発展を支える。あわせて、豊川の洪水防御、河川環境保全のための流水の確保を推進。



設楽ダム

取組6：観光地としての中部の魅力を向上

自然・歴史・文化を生かした中部の観光交流拡大

すぐれた自然環境・景観、歴史・文化資源などの地域資源を活用して、観光地の魅力を向上し、観光交流を拡大する

目的：観光交流拡大

手段：観光地のネットワーク化

背景・課題

- 中部は、中部山岳等のすぐれた自然環境・景観、白川郷、熊野古道等世界遺産に登録された歴史・文化資源等の多様な観光資源を有し、首都圏、近畿圏に隣接する恵まれた立地条件にあるが、その優位性を活かしていない。
- 観光交流を拡大するために、観光地の魅力向上、中部ブランドの創造と発信、観光地のネットワーク化が求められている。



自然・歴史・文化を活かした観光交流を拡大するため、観光地のネットワーク化が必要である。

主要事業

生活と文化を結ぶ中部の道

『地域高規格道路網の整備』
高規格幹線道路を補完し、都市と農山村地域との連携、物や人の交流を促進し、地域の自立的発展や観光産業を支える地域高規格道路網の整備を着実に推進



三河、遠州、南信地域の交流・連携ビジョンを実現する

『三遠南信地域の整備』
県境地域の三河、遠州、南信州の各地域を連絡し、昔ながらの交流の再生を図る三遠南信自動車道等の整備を推進



走り抜ける道から交流を生む道へ

『日本風景街道』
自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した、美しい街道づくり。



福島宿（長野県木曾福島町）

取組6：観光地としての中部の魅力を向上

自然・歴史・文化を生かした中部の観光交流拡大

すぐれた自然環境・景観、歴史・文化資源などの地域資源を活用して、観光地の魅力を向上し、観光交流を拡大する

目的：観光交流拡大

手段：観光地のネットワーク化

背景・課題

- 中部は、中部山岳等のすぐれた自然環境・景観、白川郷、熊野古道等世界遺産に登録された歴史・文化資源等の多様な観光資源を有し、首都圏、近畿圏に隣接する恵まれた立地条件にあるが、その優位性を活かしていない。
- 観光交流を拡大するために、観光地の魅力向上、中部ブランドの創造と発信、観光地のネットワーク化が求められている。



自然・歴史・文化を活かした観光交流を拡大するため、観光地のネットワーク化が必要である。

主要事業

人々の笑顔と文化が集う「みなと」を目指して

『みなと観光交流拠点の形成』

- 「みなとの観光交流」「海からのアクセス」などの観点から、「みなとオアシス」などを活用した、地域が一体となったソフト・ハードの連携施策により、みなとを核とした地域の観光振興を図る。

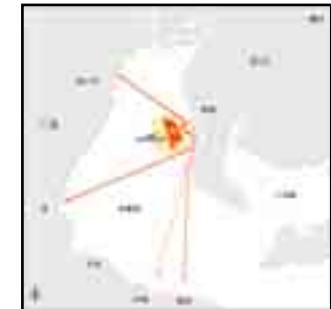


清水港(客船入港にあわせたイベントの開催)

もっと近くにセントレア

『中部国際空港海上アクセス』(再掲)

- 伊勢湾内の海上アクセスターミナルの整備により、中部国際空港の利便性をさらに高める。



空港海上アクセス就航状況

取組7：ものづくりの技術を生かした最先端の道路サービスを実施します。

交通先進モデル都市プロジェクト

道路渋滞の慢性化、交通事故の多発・重大化など負の遺産を解消するため、ITを活用し、人、自動車と道路を情報端末でネットワークした安全で利便性の高い道路交通システムを構築する

目的：負の遺産の解消

手段：先進的道路交通システムの構築

背景・課題

- ・モータリゼーションの拡大によって、道路渋滞の慢性化、交通事故の多発・重大化など道路交通問題が深刻化している。
- ・その解決のため、情報通信技術を活用して歩行、自動車走行等の安全性、利便性を向上する様々なITSの実用化・普及拡大が期待されている。



出典：STAR T21（豊田市都市整備部交通政策課）

ITSを活用した先進的な道路交通システムの構築が必要である。

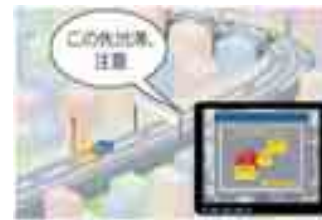
主要事業

最先端のITS技術がいつでもどこでも体験できるまち

『交通先進モデル都市構想』

ITS車載器を活用し、豊田市における交通事故の態様・要因に応じた安全運転支援サービスを実施。

前方障害物情報提供



前方異常情報提供



道路環境情報提供



プローブ情報の収集と提供



サグ部における情報提供



合流支援イメージ



デジタル道路地図データを活用した情報提供



現状・特性

中部地方は、日本のモノづくりの中心地として発展しており他地域に比べ自動車への依存度が高い地域である。そのため、陸上交通による沿道環境の悪化、工場排水などによる水質悪化など様々な環境負荷を強いてきている。蓄積してきた環境負荷を軽減し、生活環境の改善、自然環境の保全・再生に努める必要がある。

また、社会経済活動の拡大によって、地域が本来持っていた原風景や美しい景観、歴史的な街並みが喪失の危機に瀕しており、地域特性を活かした景観整備や都市郊外部の景観再生などが求められている。



山から海までの豊かな自然環境を生かし、国土マインドの醸成を促すとともに、次世代に継承していくことが求められている。

目指すべき姿

- ・万博の理念を継承し、環境負荷ゼロの循環社会を目指します
- ・山から海までの水、土砂等の物質循環の連続性を確保し、多様な生態系を育むとともに国土の健康を回復し、世界の模範となる地域を目指します
- ・日本の風土・風景を伝える地域を目指します
- ・海域で多様な生態系を回復し、海の力の向上を目指します

そのためにすること

- 取組 1 環境への負荷を軽減します。
- 取組 2 失われた自然の再生を進めます。
- 取組 3 美しい国土・風景と良好な景観を回復・創造します。
- 取組 4 伊勢湾民の宝の海をつくります。～伊勢湾再生～
- 取組 5 清流の再生を目指します。
- 取組 6 国土マインドの育成を進めます。

その他の取り組み

- ・環境アセスメント（環境影響評価）
…環境保全の観点から、環境アセスメントを引き続き実施
- ・景観アセスメント（景観評価）
…「美しい中部づくり」に向けて、景観アセスメントの試行事業を平成16年度から実施

取組1: 環境への負荷を軽減

環状道路整備等による交通渋滞解消

地球温暖化防止に対応するため、CO2排出量削減効果の高い環状道路網の整備、交通流のボトルネック解消を進める

目的: 負荷軽減(地球温暖化対策)

手段: 交通ボトルネック解消、環状道路ネットワーク形成

背景・課題

- CO2等の温室効果ガスの排出量が増加し、地球温暖化対策が喫緊の課題となっており、京都議定書の目標達成に向けた様々な取り組みが進められている。
- 運輸部門における自動車からのCO2排出量を削減するため、道路交通の渋滞解消が必要となっている。
- また、自動車からの排ガスによって、沿道の大気汚染、騒音・振動等の問題解決も重要である。



CO2等の排出削減、大気環境の改善を目指してボトルネックの解消、環状道路ネットワークを形成する必要がある。

主要事業

都市圏のクリーンエア大作戦

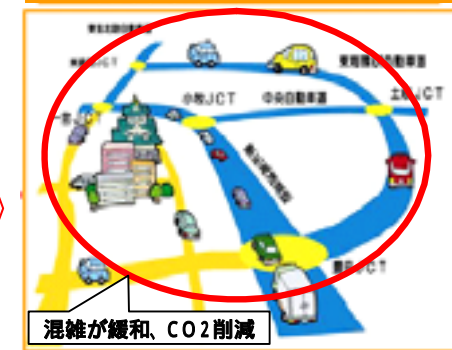
『都市圏の環状道路整備、交差点改良』

道路網の整備により都心部の渋滞を緩和し交通を円滑化。地球温暖化の原因となるCO2の排出量抑制にも貢献

ネットワークが完成していない場合



ネットワークが完成している場合



ボトルネック踏切の抜本対策!

鉄道の高架化・地下化でスムーズな往来を

『連続立体交差事業』

- 踏切に起因する交通渋滞や事故の解消を図る
- 鉄道によって分断されていた市街地の一体化を図る
- 駅周辺の中心市街地を再生する
- 鉄道施設の改良による利便性や安全性の向上を図る



取組1: 環境への負荷を軽減

環境負荷の小さい新物流システムの構築支援

地球環境への負荷を軽減するために、物流のコスト削減と環境問題対応を両立する新たな物流システムの構築を支援する

目的: 負荷軽減 (地球温暖化対策)

手段: 新物流システムの構築

背景・課題

- ・ 運輸部門における温暖化ガス排出量の削減が喫緊の課題であり、総合的・効率的物流システムの構築が求められている。
- ・ 効率的で環境負荷の小さい物流ネットワークを構築するため、共同輸配送、物流拠点の集約化、高速道路・港湾等へのアクセス等総合的な対策支援が必要である。



荷主、配送事業者等と連携し、環境負荷の小さい新たな物流システムの構築を支援する必要がある。

主要事業

海上輸送で地球に優しく

『国内海上輸送網の強化・モーダルシフトの推進』

- ・ 内貿ターミナルの整備により、環境負荷が少なく、輸送効率の高い国内海上輸送網の強化とモーダルシフトを推進



御前崎港

取組1: 環境への負荷を軽減

沿道環境改善

幹線道路沿線など自動車交通による排出ガス、騒音・振動が深刻な地域における沿道環境の改善に取組み、負の遺産を解消する

目的: 負荷軽減 (沿道環境対策)

手段: 排出ガス・騒音・振動対策

背景・課題

- ・ 主要な幹線道路は、大型トラック等によるモノの移動によって、ものづくりを中心に発展した中部の社会経済活動を支えてきたが、自動車交通による排出ガス、騒音・振動によって、沿道環境問題が深刻化した。
- ・ 名古屋南部地域では、幹線道路沿線を中心に、騒音・振動や自動車から排出される窒素酸化物 (NOx)、浮遊粒子状物質 (SPM) により、深刻な問題となっている。



名古屋南部地域の幹線道路沿線の生活環境を改善するため、総合的・重点的な施策を展開する必要がある。

主要事業

人と車が共存する社会をめざして

『沿道環境整備事業』

現在の道路を拡幅し、車道と沿道の住宅地との間を広げ、幅広の植樹帯や歩道、地域の車のためのサービス道路などからなる「環境施設帯」を整備。



取組1:環境への負荷を軽減

健全な水・物質循環の構築、多様な生態系の回復

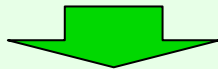
過去からの人間活動の結果、疲弊・汚濁した河川・海域の水質環境を改善するために、流入負荷対策、堆積負荷対策に取り組む

目的:負荷軽減(循環系の回復)

手段:流入負荷、堆積負荷対策

背景・課題

- ・水・物質循環は、水質の浄化・水辺環境や生態系の保全に大きな役割を果たしてきた。
- ・しかし、過去からの人間の生産活動による、都市域の拡大・人口の増大、気象の変化等により、水質汚濁の進行、生態系への悪影響、親水機能の低下など流域全体の課題が顕著化してきている



健全な水・物質環境の構築を進めるには、流入負荷の削除などによる生態系の回復を進めるとともに、これまで蓄積された負荷対策を並行して実施する必要がある。

主要事業

水瓶をさらにきれいに

- 『ダム湖分画フェンスによる水質の保全』
- ・出水時にダム湖への濁水の混合を防止し、放流水の濁度を軽減。



遠州の水面清らかに

- 『佐鳴湖直接浄化施設整備』
- ・5年連続全国湖沼ワースト1。行政、住民が一体となって浄化に取り組む。



「君と一緒に海へ...」きれいな水を川・海に帰し、持続可能な水環境を

- 『下水道整備』(再掲)
- ・全国の中でも整備水準の低い下水道の普及促進とともに、水再生・利活用ネットワークを創出



多様な生き物がいきづく海づくり

- 『シーブルー事業』(再掲)
- ・自然が本来持っている水質浄化機能を蘇らせ、水質や底質を改善し、多様な生物が住みやすい海域環境を回復



三河港三谷

取組1:環境への負荷を軽減

都市環境問題への対応

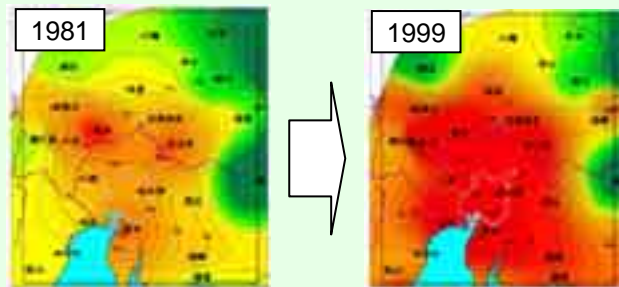
大都市のみならず、地方都市においても顕在化・進行しつつあるヒートアイランド現象を抑止し、快適な都市環境を実現するために、都市緑化を推進する

目的:負荷軽減(都市環境対策)

手段:地表面温度冷却対策

背景・課題

- ・現在、大都市のみならず地方都市においても、緑地、水辺の減少、表面舗装化などにより、水分の蒸散機能が減退し、地表面の冷却が進みにくくなっている。
- ・ビルなどの密集は風の循環を遮り、建物・自動車などからの廃熱、道路面の太陽熱の蓄積などによって、都市内気温は上昇傾向にある。



ヒートアイランド現象の深刻化
中部圏の30 超ののべ時間数分布

ヒートアイランド現象による熱帯夜、集中豪雨、エネルギー消費の増大といった都市問題に対応するため、都市部における外気温低下に向けた取り組みが必要である。

主要事業

みどりはヒートアイランド対策の特効薬！まちを冷やして快適に

『緑地の保全と緑化の推進』

- ・植物はその蒸散作用により気温の上昇を抑える効果があり、ヒートアイランド現象の緩和には緑化の推進等が有効。
- ・都市公園の整備等により都市における緑地の保全や緑化を推進し、ヒートアイランド現象の緩和を図る。



緑地のヒートアイランド現象緩和効果

取組1:環境への負荷を軽減

多様化する環境問題への取り組み

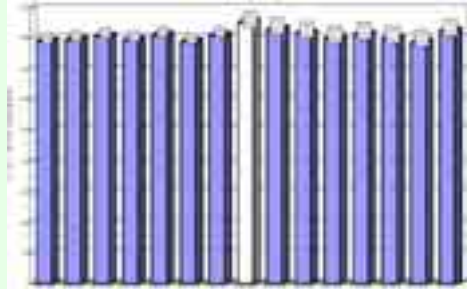
モノづくり中部のさらなる発展のために、多様化・深刻化する環境問題に取り組む

目的:負荷軽減(廃棄物対策)

手段:最終処分場確保、有害物資除去対策

背景・課題

- ・循環型社会の構築に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)など取り組みは一定の成果を上げているものの、その上でなお残る廃棄物の最終処分施設の確保は喫緊の課題である。
- ・過去の生産活動の結果、すでに蓄積されている有害科学物質の適切な処理処分は、今後も継続的に取り組んでいく必要がある。



産業廃棄物排出量の推移(環境省)

廃棄物最終処理施設の容量確保、ダイオキシン類などの有害科学物質の除去といった、多様化・深刻化する環境問題に取り組む必要がある。

主要事業

循環型社会実現へのエンジン

- 『リサイクルポートプロジェクトの推進』
- ・全国規模での循環資源の広域流動を促進するとともに、臨海部の活性化を図るためにリサイクル産業の拠点化を進め、静脈物流システムの構築、岸壁等の港湾施設整備等を促進

三河港



リサイクルの先にも必要なもの

- 『廃棄物海面処分場の整備』
- ・毎日の生活から発生する廃棄物海面処分場を、港湾の利用に配慮しつつ適切に確保



衣浦港(廃棄物海面処分地)

安心して憩えるみなとへ

- 『ダイオキシン類等を含む底質の浚渫・無害化』
- ・ダイオキシン類等の有害化学物質を含む港内の底質を浚渫・処理し無害化



田子の浦港

取組2:失われた自然の再生

日本古来の自然環境を再生

過去の開発により失われた、水辺を中心とした日本古来の自然環境の再生に取り組み、生物の多様性を確保し水辺環境の保全を図る

目的:自然再生

手段:日本古来の自然環境の再生

背景・課題

- ・社会経済活動の拡大によって、山紫水明、白砂青松などといわれた、かつて日本を象徴した自然環境を喪失しつつある。
- ・美しい国土を保全するため、過去に失われた自然環境の再生を進め、多様な生態系を回復することが求められている。



出典:自然再生事業イメージ(環境省)

豊かな自然環境の再生には、自浄機能・原風景の回復のみならず、生物多様性の回復という視点からの取り組みが重要である。

主要事業

田方平野の原風景 『狩野川自然再生事業』

・レキ河原の保全・再生等を図り、かつての良好な河川環境を再現。



狩野川(大岡地区)

広大な大河川再生に向けて 『木曾三川河口自然再生事業』

・失われた干潟やヨシ原の復元など、多様な自然環境を再生。



損斐川(白鷄地区)

山から河・海へ 国土をつくる土砂を送る

『砂防堰堤スリット化、堰堤施設改良』

・流域(流砂系)における土砂移動の連続性を確保し、海岸侵食等を軽減。



滑川第3砂防堰堤

土砂環境の復元へ向けた取組(天竜川)

『天竜川ダム再編事業』 『小渋ダム堰堤改良事業』

・既設ダムに新たな治水機能の確保、現機能を維持し洪水防御推進。あわせて土砂移動の連続性を確保し土砂環境等の復元を推進。



佐久間ダム

侵食の進む海岸線の保全

『養浜による海岸侵食対策』

・アカウミガメの産卵場である海浜の侵食が著しい。養浜工により、豊かな環境を保全。



富士海岸吉原工区
(静岡県 富士市)

取組3：美しい国土・風景と良好な景観を回復・創造

景観形成への取り組み

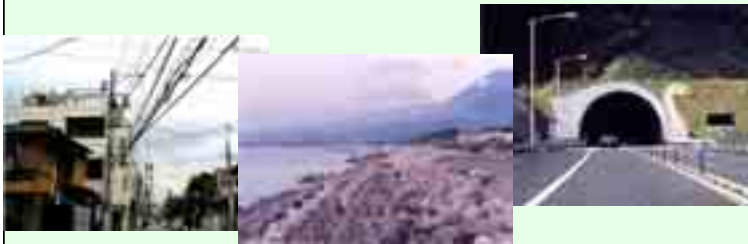
インフラ整備にあたっては、経済性・効率性だけではなく、地域特性を踏まえた周囲の景観との調和を重視した国土の整備を進めることで、美しい国土景観を形成し、社会資本への愛着を醸成

目的：美しい国土の回復・創造

手段：インフラ整備による景観形成

背景・課題

- ・ 中部は、四季の変化に富んだ美しい自然景観や地域の歴史、文化に根ざした建造物や町並みを有している。
- ・ しかし、戦後、経済性・効率性等を重視した社会資本整備を進めるあまり、美しさへの配慮を欠いた景観が各地で見られるようになり、ゴミ等の不法投棄など社会的モラルの欠如をも助長する結果となっている。



周囲の景観と調和した居心地が良く飽きのこない空間を形成することにより、社会資本への地域の愛着を醸成するとともに、美しい国土・風景を後世に伝える必要がある

主要事業

景観に配慮した電柱・電線のない歩行空間の創出

『電線共同溝整備事業』
 ・ 電線共同溝（電線類の地中化）を整備することにより、すっきり美しく、ゆとりある歩行空間を形成。



山並みと街並みと人々の暮らしが調和する狩野川の景観づくり

『狩野川河川改修事業（下河原地区）』
 ・ 沼津市の中心部に位置し、かつ狩野川の堤防の高さが低く、堤防の整備が望まれている区間において景観に配慮した堤防・護岸を整備。



風光明媚な景観及び周辺環境に調和した道路

『日本風景街道』
 自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した、美しい街道づくり。



福島宿（長野県木曾福島町）

取組3：美しい国土・風景と良好な景観を回復・創造

景観形成への取り組み

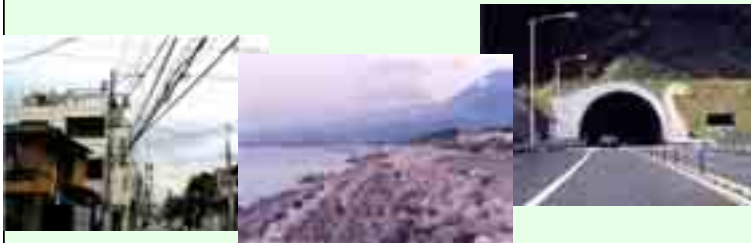
インフラ整備にあたっては、経済性・効率性だけではなく、地域特性を踏まえた周囲の景観との調和を重視した国土の整備を進めることで、美しい国土景観を形成し、社会資本への愛着を醸成

目的：美しい国土の回復・創造

手段：インフラ整備による景観形成

背景・課題

- ・中部は、四季の変化に富んだ美しい自然景観や地域の歴史、文化に根ざした建造物や町並みを有している。
- ・しかし、戦後、経済性・効率性等を重視した社会資本整備を進めるあまり、美しさへの配慮を欠いた景観が各地で見られるようになり、ゴミ等の不法投棄など社会的モラルの欠如をも助長する結果となっている。



周囲の景観と調和した居心地が良く飽きのこない空間を形成することにより、社会資本への地域の愛着を醸成するとともに、美しい国土・風景を後世に伝える必要がある

主要事業

地域の魅力と生活を守るふるさと海岸の整備

- 『ふるさと海岸整備事業』（再掲）
- ・昔から“人々の憩いの場”として存在していた海岸を保全するため、地域住民の利用や景観に配慮された“ふるさと海岸”を整備



津松阪港海岸

世界に誇り得る美しいみなとまちづくり

- 『清水港・みなと色彩計画』
- ・企業、市民、行政の協力により、自然と建造物の色合いをバランスよく調和させた景観を形成し、美しいみなとまちづくりを実現



清水港

美しく風格のある海辺環境の創出

- 『港湾緑地の整備』
- ・水域を活用したプロムナード、水域にアクセスできる斜路や階段護岸など、水域を効果的に取り込んだ港湾緑地整備を推進



名古屋港（ガーデン埠頭）

良好な港湾景観の形成『放置艇対策』（再掲）

- ・景観上・船舶航行上の問題だけでなく、津波や高潮時に背後地の被害を増幅させる要因となる放置艇対策を推進



名古屋港南5区

取組4：伊勢湾民の宝の海をつくります

水環境の改善

過去からの人間活動の結果、疲弊・汚濁した河川・海域の水質環境を改善し、健全で活力ある伊勢湾を再生し次世代に継承する。

目的：負荷軽減（水環境対策）

手段：流入負荷、堆積負荷対策

背景・課題

- これまで、河川・海域をはじめ自然が本来持つ水質浄化機能を超えた社会経済活動を進めてきた。
- その結果、伊勢湾・三河湾等の閉鎖性海域では、富栄養化が進行し、赤潮または苦潮を慢性的に発生させ、それによる生物被害、漁業被害の頻発といった生態系にまで影響を及ぼしている。



赤潮



苦潮

水質環境の改善にあたっては、自然が本来持っていた水質浄化機能を回復するとともに、流入負荷対策と海域での水質・底質改善を並行して実施する必要がある。

主要事業

取り戻そう、きれいな伊勢湾

『木曾三川河口自然再生事業』（再掲）
 ・長良川や木曾川の河口部において、多様な生態系の保全等の取り組みとして、ヨシ原の復元を実施。



長良川

「君と一緒に海へ…」きれいな水を川・海に帰し、持続可能な水環境を

『下水道整備』（再掲）
 ・全国の中でも整備水準の低い下水道の普及促進とともに、水再生・利活用ネットワークを創出



多様な生き物がいきづく海づくり

『シーブルー事業』（再掲）
 ・自然が本来持っている水質浄化機能を蘇らせ、水質や底質を改善し、多様な生物が住みやすい海域環境を回復



三河港大塚

取組4：伊勢湾民の宝の海をつくります

生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充

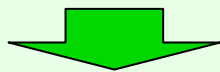
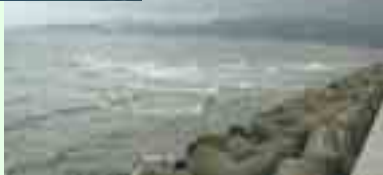
生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充により、伊勢湾環境に対する関心を高め、健全で活力ある伊勢湾を再生し次世代に継承する。

目的：地域交流の拡大

手段：拠点整備

背景・課題

- ・高度成長による伊勢湾沿岸の工業化・都市化が進展。
- ・伊勢湾台風等による自然災害から暮らしを守るため、海岸保全施設の整備が進んだ。
- ・人は海から遠ざかることにより、伊勢湾の環境問題に関する関心が薄い。



現代社会の憩い・安らぎ空間の創出と伊勢湾環境に対する関心を高めるためにも、人が海とふれあえる場の創出が必要である。

主要事業

美しく風格のある海辺環境の創出

『港湾緑地の整備』（再掲）

- ・水域を活用したプロムナード、水域にアクセスできる斜路や階段護岸など、水域を効果的に取り込んだ港湾緑地整備を推進



三河港大塚(ラグーナ)

地域の魅力と生活を守るふるさと海岸の整備

『ふるさと海岸整備事業』（再掲）

- ・昔から“人々の憩いの場として存在していた海岸”を保全するため、地域住民の利用や景観に配慮された“ふるさと海岸”を整備



津松阪港海岸

取組5：清流の再生

都市内河川の水環境改善

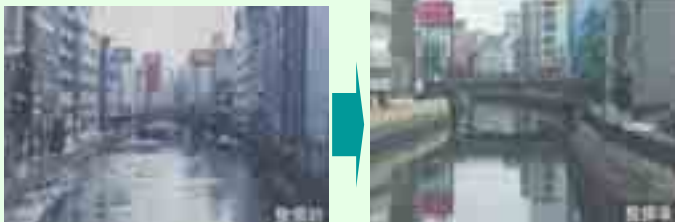
快適な都市環境の創出のため、都市生活者の最も身近な親水空間である都市内河川・運河の水環境改善に取り組む

目的：都市内河川環境再生

手段：流入負荷、堆積負荷対策

背景・課題

- ・過去からの市民生活、社会生産活動を通して、都市生活者の最も身近な親水空間である都市内河川及び運河の持つ癒し機能を喪失した。
- ・快適な都市環境の創出のためには、都市内河川・運河の水環境の改善が必要である。



【整備前】 【整備後】
マイタウン・マイリバー事業(堀川)

これまでの、汚水排出・流出等によって蓄積した堀川の汚泥の削減に取り組む必要がある。

主要事業

堀川を再生して迎える名古屋城築城400周年

『堀川の河川改修及び浄化』

市民の憩いの場となるよう、堀川でマイタウン・マイリバー整備事業や河川環境整備事業とあわせて周辺の環境と調和した水辺空間づくりを目指し、親水性の高い護岸や散策路の整備を図るとともに、浚渫により汚泥等を除去し、良好な水環境を創出。



堀川の整備により親水性が高まり市民の憩いの場に



浚渫により堀川の水質を改善

取組6：国土マインドの育成

自然教育、癒し空間の整備

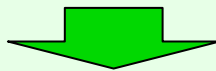
国土に愛着や誇りを持つ個々の意識(国土マインド)を醸成し、次世代に継承していくために、自然教育・体験を通して、国土の形成や保全に関する意識を高める取り組みを進める。

目的：意識醸成

手段：自然教育の場の形成

背景・課題

- ・美しく安全な国土を形成するため、国土に対して国民が愛着や誇りを持てるよう、個々の意識を醸成し、その意識を次世代に継承していくことが不可欠である。
- ・そのため、子どもたちが、身近に水・自然環境と接することのできる場の回復・創造を進める必要がある。

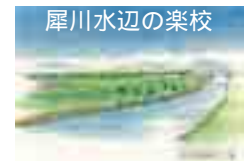


国土マインドを育成するため、自然教育・体験できる場の確保と適切なイベント・プログラムを実施する必要がある。

主要事業

川から学ぶ『水辺の楽校』

・NPOやボランティア団体等と協働して水辺が自然体験の場、環境学習の場として活用されるように、緩傾斜堤防等の整備を実施。



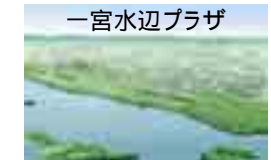
湖水に親しむ『ダム湖活用環境整備』

・ダム湖の利活用を促進し水源地域の活性化を推進。
・地元自治体・市民団体との連携。



河川に親しむ『環境整備事業』

・市町村にある水辺の魅力を引き出し、地域交流の拠点として、そこを訪れたいくなるような「にぎわいのある水辺」を水辺プラザ事業として実施。



海で遊び学び育てる『海辺の達人養成講座、海辺の自然学校』

・魅力的な海の自然環境を伝えられる「海辺の遊びの達人」を養成し、海のフィールドを活かして、子どもたちを豊かに育むための自然学校を開催

南知多(海辺の達人養成講座)



体験しながら学ぶ『国営木曾三川公園の環境教育』

・国営木曾三川公園の豊かな自然を活かし、ネイチャーガイドプログラム等を通じた実体験から学ぶ環境教育を推進



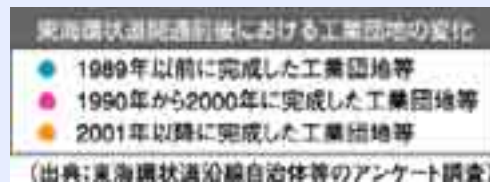
暮らしを支えるために

《暮らし》

現状・特性

人口減少社会、少子高齢化に伴い、ライフスタイルは多様化している。また、都市と中山間地域との格差は拡大し、多様な公益的機能を有する森林の荒廃が危惧されている。このため、都市・農山漁村地域等地域の特色に基づいた地域づくりが求められる。

近年整備された環状道路ネットワークにより、工場団地の立地、商業圏域の拡大、新たな地域間の交流など社会経済へ多大な影響を及ぼしており、地域の活性化のためにも更なる拡充が求められる。



目指すべき姿

- ・住みやすさ日本一を目指します。
- ・暮らし(ライフスタイル)を選択できる社会を目指します。
- ・出会い・交流を楽しめる社会を目指します。
- ・高齢者がより長く元気に生活を楽しめる社会を目指します。
- ・子育てフレンドリーな社会を目指します。
- ・各地域が自立した社会(出生率、求人倍率、自主財源日本一)を目指します。

そのためにすること

- 取組1 地方都市の活性化を促します。
- 取組2 中山間地域の活性化を促します。
- 取組3 人々がつどい、交流する拠点を形成します。

その他の取り組み

- ・まちづくり交付金
 - ...地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを支援

取組1: 地方都市の活性化

まちの賑わい創出への取り組み

衰退・空洞化が深刻な中心市街地の「まちの顔」の復活・再生に向けて、中心市街地の活性化を促進・支援する

目的: 拠点都市の再生

手段: 中心市街地活性化

背景・課題

- ・近年、多くの都市で、モータリゼーションの進展、郊外大型店の立地、中心市街地の人口減少・高齢化等によって、中心市街地の衰退・空洞化が深刻な状況となっている。
- ・このままでは、多くの地方都市で、「まちの顔」となっている拠点的機能が消失し、地域で暮らす高齢者等の暮らしに支障をきたすことが危惧される。



出典:
中心市街地活性化推進室

衰退・空洞化が深刻な中心市街地の「まちの顔」の復活・再生に向けて、拠点市街地の活性化を促進する必要がある。

主要事業

「まちの顔」中心市街地にカンフル剤！ 特色を生かした活気のあるまちへ

『中心市街地における都市機能の増進』

- ・人口減少、少子高齢化社会を迎えている中で、都市機能を増進し、高齢者にも暮らしやすいコンパクトなまちづくりを推進
- ・中心市街地のポテンシャルを活かし、人が住み、育ち、学び、働き交流する場として賑わいのあるまちを再生



創意工夫を活かしたオーダーメイドのまちづくり

『中都市再生・地域機能の充実』

- ・地域の歴史・文化・伝統・風土などの域特性を活かした、個性あふれるまちづくりを推進
- ・地域が自ら考え自ら行動し、ハード整備だけでなくソフト面も含めた総合的かつ独創的な取組みを重点支援



空き店舗活用事例

取組1: 地方都市の活性化

産業の創出に資する取り組み

地方都市の経済が元気になる交流拡大への取り組み

目的: 地方都市の活性化

手段: 産業の創出、振興

背景・課題

- ・東海環状自動車道の整備により、工業団地の開発、商業圏域の拡大、沿線地域の新たな交流連携など社会・経済に大きく貢献



産業の創出や振興により地方都市を活性化させるため、高速定時サービスの信頼性を高めるなど広域的に連携・交流する基盤が必要である。

主要事業

地域と都市を結び社会交流を支援

『地域高規格道路の整備』

高規格幹線道路を補完し、都市と農山村地域との連携、物や人の交流を促進し、地域の自立的発展や観光産業を支える地域高規格道路網の整備を着実に推進



取組1: 地方都市の活性化

暮らしに身近な問題解決への取り組み

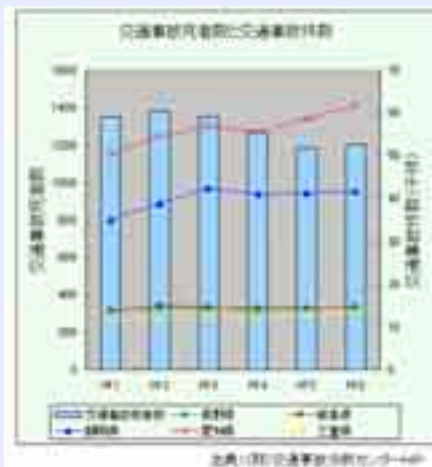
交通事故防止対策、地域空間のバリアフリー化への要請など、身近な暮らしの多様な問題解決に取り組む

目的: 拠点都市の再生

手段: 身近な問題への対応

背景・課題

- ・ 少子高齢化の進行により、高齢者の交通事故の増加、若年者を巻き込む重大事故が多発するなど交通安全に対する不安が高まっている。
- ・ また、高齢化の進行等で、地域空間のバリアフリー化の社会的な要請も高まっている。



交通事故、地域空間のバリアフリー化等身近な暮らしの不安を解消する取り組みを進める必要がある。

主要事業

歩行者にも優しい、自動車にも快適な、ゆとりある道路空間ネットワーク 『街路整備』
 ・ 歩行者と自動車交通の空間的分離により、ゆとりある道路空間と、安心安全な歩行者空間を確保



自動車が使えなくても暮らしやすい、便利なまちへ 『公共交通支援』
 ・ 自動車交通が使えなくても、すべての人が安全・快適に移動し、生活できる便利なまちづくりを推進。また、自動車交通からの転換を図り、都市内交通の円滑化を推進することにより、環境負荷の軽減を図る。



近所の公園は小さな社交場、子育てをみんなでバックアップ! 『都市公園の整備』
 ・ 安心して子育てができる都市環境形成のため、歩いていける身近な場所等において、子どもの遊び場となる都市公園を計画的に整備



ユニバーサルデザインのまちづくり 『自律移動支援プロジェクト』
 ・ 誰もが安心して移動できる社会システム「ユビキタス場所情報システム」を構築。
 ・ 高齢者、障害者等の社会参画を目指す。



衛生的で快適な生活への第一歩 『下水道整備』(再掲)
 未普及地域を解消することにより、健全な水環境を創出し、衛生的で快適な生活を確保

取組2：中山間地域の活性化

森林から沿岸地域までの水・物質循環機能を再生

多様な公益的機能を有する森林の荒廃が危惧される状況にあるため、都市と中山間地域が一体となった流域圏での水・物質循環機能の構築に取り組む

目的：中山間地域の再生

手段：都市生活者を巻き込んでの一体的施策

背景・課題

- ・近年、森林の荒廃が進行しつつあり、森林の本来もつ防災機能、景観保全等の多様な公益的機能が失われつつある。
- ・中山間地域の持つさまざまな機能は都市生活に密接に関係しているということを、都市生活者に対して広く啓発する必要がある。



木曾川水系島田川 島田床固工群



庄内川水系中御所川
市之倉おりべ砂防えん堤

森林の荒廃を防止するなど公益的な取組みとして、森林から沿岸地域までの水・物質循環機能の再生への取組みが必要である。

主要事業

人間社会と水との関わりを構築し・人の活動と水循環の調和を図る
『自然再生』

・豊かな自然環境を再生するため、河口域における干潟やヨシ原の保全・再生につとめ、流域圏一体となり住民の方々と協働で事業を推進する。



木曾川水系長良川上之輪新田
住民との協働によるヨシ原再生

木曾川水系揖斐川白鷄福吉
再生した干潟で遊ぶ子供たち

住民との協働による市街地隣接斜面の整備

『土岐川流域グリーンベルト整備事業』

・市街地に隣接する山麓斜面に対し、地域住民と協働し、間伐等の整備を行うことにより、自然環境に優れ、土砂災害に強い健全な森林を保全・創出する。



笠原の森(岐阜県多治見市)

取組2：中山間地域の活性化

安心して暮らせるための交通確保

中山間地域における「命の道」を強化・確保し、安心して暮らせるようにするため、高速交通ネットワークを形成する

目的：中山間地域の魅力向上

手段：交通基盤強化

背景・課題

- ・ 中核的な医療機関がなく、高速道路とも接続していないため、緊急医療の移動に多大な時間を要し、命にも係わる問題が発生する中山間地域が多く存在している。
- ・ また、それら地域では、豪雨等による土砂災害によって、1本しかない命の道が寸断される可能性も高く、現実にも多雨地域では、日常的な豪雨による交通規制等で不便な生活を強いられている地域もある。



直轄国道における要防災対策箇所

災害時でも安心して暮らせるよう高速交通ネットワークを形成し、「命の道」を強化することが必要である。

主要事業

「命の道」がもたらす安全・安心

『命の道となる幹線道路の整備』

災害に強く、地域住民の生活・医療などを支える幹線道路の整備を推進



取組3：人々がつどい、交流する拠点の形成

人々が交流することのできる交流拠点を形成

自然・歴史・文化・産業などの多彩な地域資源を有効に活用した都市と農村の対流等を拡大するため、既存インフラと有機的に連携し、人々のふれあいを育む交流拠点を形成する

目的：地域交流の拡大

手段：拠点整備（既存インフラの活用）

背景・課題

- ・中部は、自然・歴史・文化・産業などの多彩な地域資源を有しており、これらを有効に活用して、都市と農村の対流などを拡大しうる可能性を有している。
- ・しかし、これら地域資源は広く点在しており、単独で国内外にアピールしうる十分な集約力を有しているとは言い難い状況にあ



恵那峡
(大井ダム)

阿木川湖
(阿木川ダム)

佐久間湖
(佐久間ダム)

出典：ダム湖百選 (財)ダム水源池環境整備センター

自然・歴史・文化・産業などの多彩な地域資源と既存インフラを有機的に連携し、交流拠点を形成する必要がある。

主要事業

地元が主役の水辺拠点づくり

『水辺プラザ』

- ・市町村にある水辺の魅力を最大に引き出す整備により、人々がそこを訪れたいくなるような、地域交流拠点を創出。



人々の笑顔と文化が集う「みなと」を目指して

『みなと観光交流拠点の形成』

- ・「みなとの観光交流」「海からのアクセス」などの観点から、「みなとオアシス」などを活用した、地域が一体となったソフト・ハードの連携施策により、みなとを核とした地域の観光振興を図る。



清水港(客船入港にあわせたイベントの開催)

湖水に親しむ

『ダム湖活用環境整備』(再掲)

- ・親水公園・遊歩道・船着場の整備し、ダム湖の利活用を促進し水源地域の活性化を推進。



美和湖レイクフロント整備箇所

取組3：人々がつどい、交流する拠点の形成

憩い・安らぎ空間の創出

様々な人々の余暇活動の拡大に寄与する、水辺、海辺、緑など自然環境の再生・回復・活用による憩い・安らぎ空間を創出する

目的：地域交流の拡大

手段：拠点整備（インフラ新規整備）

背景・課題

- ・社会経済の成熟化に伴って、効率性、機能性を重視する社会から、個々の多様なライフスタイルの実現を支える社会へ移行しつつある。
- ・地産地消、スローライフ等のニーズが拡大するなか、身近な地域において交流できる魅力ある空間の確保は有効である。



出典：木曾川下流河川事務所HP

身近な水辺、海辺、緑など自然環境を再生・回復・活用して憩い・安らぎの場を提供する必要がある。

主要事業

かわと親しみ自然を満喫 『座光寺・万年橋利用推進事業』

- ・天竜川で近年利用者が増えている、カヌーやラフティング等の安全な発着場を整備し、初心者から上級者まで幅白い利用を推進する。



天竜川座光寺地区カヌー乗り場イメージ図

美しく風格のある海辺環境の創出 『港湾緑地の整備』（再掲）

- ・水域を活用したプロムナード、水域にアクセスできる斜路や階段護岸など、水域を効果的に取り込んだ港湾緑地整備を推進



名古屋港（ガーデン埠頭）

こんな身近に豊かな自然が！ 木曾三川の流れに育まれた日本一の公園ネットワーク

『国営木曾三川公園の整備』

- ・東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に対応するため、木曾川、長良川、揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースを活用して、日本最大級の都市公園を整備。
- ・単なるレクリエーションだけでなく、自然学習、健康・福祉等の多様な活動の場を広く提供。



取組3：人々がつどい、交流する拠点の形成

憩い・安らぎ空間の創出

様々な人々の余暇活動の拡大に寄与する、水辺、海辺、緑など自然環境の再生・回復・活用による憩い・安らぎ空間を創出する

目的：地域交流の拡大

手段：拠点整備（インフラ新規整備）

背景・課題

- ・社会経済の成熟化に伴って、効率性、機能性を重視する社会から、個々の多様なライフスタイルの実現を支える社会へ移行しつつある。
- ・地産地消、スローライフ等のニーズが拡大するなか、身近な地域において交流できる魅力ある空間の確保は有効である。



出典：木曾川下流河川事務所HP

身近な水辺、海辺、緑など自然環境を再生・回復・活用して憩い・安らぎの場を提供する必要がある。

主要事業

自然とのふれあい～みんなが集まる楽しい海辺の創出

『海岸環境整備事業』

- ・身近に自然とふれあえる場、人々が集い憩える場として、地元住民に親しまれる海辺や環境の整備



浜島港海岸

蘇れ、都市の水辺（中川運河再生）

『緑地、係留施設の整備』

- ・「運河」の魅力、地域の個性を活かした水辺の賑わい空間づくりや水上ネットワークの構築、防災機能の強化により、「運河」を核とした魅力ある地域づくりの推進



名古屋港（中川運河）

取組3：人々がつどい、交流する拠点の形成

交流を活性化する地域ネットワーク整備

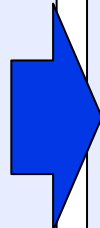
地域の自立ある発展、地域間の交流の活性化を支えるため、地域特性に対応した交通ネットワークを形成する

目的：地域交流の拡大

手段：拠点間のネットワーク化

背景・課題

- ・ 中山間地域において、限界集落の発生等、暮らしの維持が困難な状況となっている。
- ・ 都市と地方の格差拡大が顕在化する一方で、地方分権型社会への移行に伴って、地域の自立ある発展が強く求められる状況になっている。



地域の自立ある発展、活性化を支えるため地域特性に対応した交通ネットワークを形成する必要がある。

主要事業

川にふれよう、川であそぼう

『狩野川コリドー事業関連』

- ・ 河川空間を活用して、自転車・散策空間を構築し、カヌーなどの利用が盛んな箇所に、階段護岸等を整備し、狩野川とその沿川の魅力と活力溢れる地域づくりを進める。



カヌー乗り場整備

地域の自立・活性化のために！交流人口増大を図る

『高規道路・地域高規格道路の整備』

- ・ 半島部の屋台骨を整備し、半島全体の活性化を支援する伊豆縦貫自動車道の整備を推進



祈りの航路ふたたび

『東紀州「海の古道」拠点港の整備』

- ・ 熊野三社参詣のための「海の古道」を現代に蘇らせ、東紀州の交流活性化を図るため、海上交通のネットワーク形成を進める。



尾鷲港

取組3：人々がつどい、交流する拠点の形成

市町村・住民と一体となった交流拠点等の形成

交流人口の拡大等による地域活性化を図るため、自然環境等の地域資源を活用しつつ、市町村・住民と一体となって交流拠点を形成する

目的：地域交流の拡大

手段：市町村・住民との連携

背景・課題

- ・本格的な人口減少社会の到来によって、人口増加の見込めない地域においては、交流人口の拡大等によって、地域活性化を図っていくことが期待されている。
- ・交流人口を拡大するためには、魅力ある交流拠点の形成が不可欠である。



攝斐川
(岐阜県安八郡安八町)



豊川
(愛知県新城市)



自然環境等の地域資源・既存インフラを有効に活用して、市町村・住民と一体となった交流拠点を形成する必要がある。

主要事業

みんなで、いっしょに始めませんか。
美しい水辺をとり戻す活動。

『川と海のクリーン大作戦』

・川と海のクリーン大作戦は、ゴミを拾うということにその目的があるとは言うまでもありませんが、本作戦が、河川利用時のマナー向上啓発の場、川や海の魅力を再発見する場、地域との連携・協働の場となることを目的としています。



木曾川
(愛知県愛西市)

今後起こりうる大地震等に備え、災害に強い地域

例えば

- ・過去概ね50年間で最大級の洪水が発生しても、河川からあふれて浸水しなくなる。
- ・橋梁が耐震補強され、大規模地震が発生し被災しても、早期復旧、復興が可能となる。
- ・大規模地震が発生しても、海上ネットワークが確保されるとともに、迂回路となる高速道路ネットワークが機能し緊急物資輸送や企業活動が確保される。

だれもが「安心」を感じながら暮らせる地域

例えば

- ・大規模地震が発生しても、海上輸送・陸上輸送を活用し、避難する方々の移動を確保するとともに、緊急物資を確実に供給し、被災した方々の生活を支えることができる。
- ・平成6年並みの大湯水が発生しても、確保された貯留水により断水だけは回避できるようにする。
- ・交通安全対策の充実により国道の歩行者死亡事故が激減する。
- ・「荒廃するアメリカ」を教訓に、中部の社会資本は適切に維持・管理され、いつまでも安心して利用できる。

*「荒廃するアメリカ」とは、1930年代にニューディール政策により大量に建設された道路構造物が1980年代には老朽化が進んでいるなか、アメリカ経済は停滞しており、維持管理が行き届かなかったため橋梁の落下等が発生し「荒廃するアメリカ」と呼ばれる状況を招いた。



神戸市ホームページより



庄内川(一色大橋) (H12.9東海豪雨時の状況)



産業都市圏として国際的に高い競争力を有する地域

例えば

- ・伊勢湾スーパー中枢港湾における次世代高規格コンテナターミナルの実現により、物流の効率化が更に進む。(港湾コスト3割削減、リードタイム1日化)
- ・新たな規格の高い幹線道路が東西・南北軸となり、定時性や大量輸送が可能となる。
- ・ものづくり回廊(環状道路)を通じて、自動車産業やIT産業等の各種産業が融合、イノベーションが期待される。
- ・異常湧水が発生しても農産物やものづくりに不可欠な水が安定的に供給される。

産業観光資源をはじめ自然・歴史・文化など独自の地域資源を観光に活かすことの出来る地域

例えば

- ・観光資源、拠点が広域的に連携強化され、観光交流が促進し、地域の自立ある発展が図られる。
- ・伊勢湾の美しい自然環境の保全、多様な生態系の再生が進み、中部地方の高い魅力を持つ。
- ・みなと、水際線を核とした地域の観光が振興される。

ヒト、モノ、情報が海外と活発に直接交流する地域

例えば

- ・交通先進モデル都市が実現し、最先端のITS技術がいつでもどこでも体験できる。
- ・海と空の高速交通ネットワークの強化により、ヒト・モノ・情報の国内外との移動の効率化・円滑化される。
- ・新物流システムの導入により、環境にやさしく、効率性、信頼性の高い物流が実現する。



万博理念を継承した、環境負荷ゼロの循環型社会

例えば

- ・環状道路機能の効果により、都心の渋滞が減少しCO2排出量が削減される。
- ・排ガス、騒音、振動による沿道環境問題が着実に解消し、生活環境が改善される。
- ・陸上輸送から海上輸送へのシフトにより環境負荷が改善される。

国土の健康を回復し、世界の規範となる地域

例えば

- ・水質・底質の浄化を通じて、伊勢湾や堀川等の河川や海の浄化が進む。
- ・総合的な土砂管理のもと、土砂災害から地域を守り、浸食された河床や海岸線が保全される。

日本の風土・風景を伝える地域

例えば

- ・失われた干潟やヨシ原の復元など、日本古来の自然環境が再生される。
- ・各地で美しい街並み・水辺など景観が各地で形成・創出される。



各地域が自立した社会

例えば

- ・信仰の道・塩の道などのような人・モノの交流が復活し、「地方時代」のモデル圏域が形成される。
- ・街の中心部に賑わいと活気が戻り、ゆとりを持って街歩きができるようになる。
- ・都市と農山漁村地域との連携が強化され、相互の交流が活性化する。

高齢者がより長く元気に生活を楽しめる社会

例えば

- ・だれもが安全で円滑に利用できる交通環境が形成される。
- ・だれもが安全・円滑に水に触れ、海や川の魅力が享受できる。

子育てフレンドリーな社会

例えば

- ・近所の公園が地域の絆をつなぎ、安心して子育てできる都市環境が形成される。

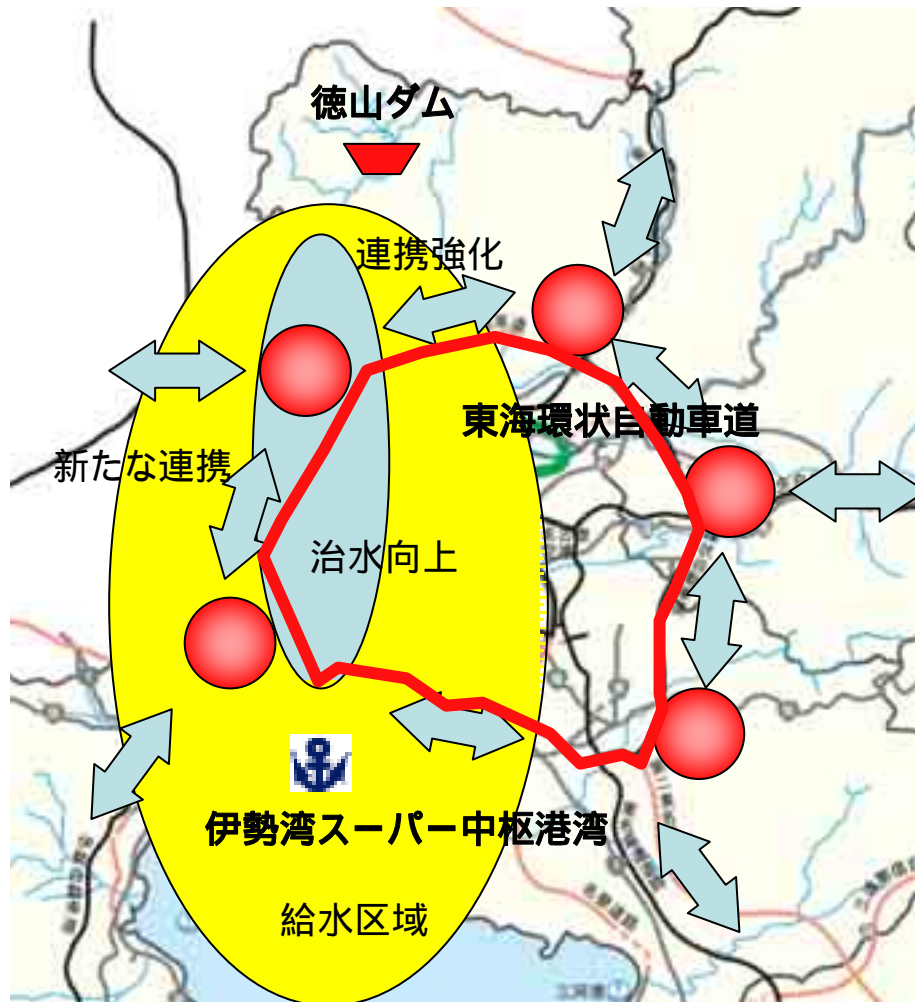
出会い・交流を楽しめる社会

例えば

- ・都市内の水際線を活かした「水の交流軸」の形成や、海や川の水辺などの身近な憩い安らぎ空間の確保が進み、様々な人々の余暇活動が拡大する。

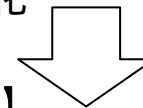


インフラビジョン(案)が提案する将来像～主な事業を事例として...



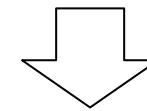
【名古屋圏における主な事業】

- ・徳山ダム、木曽川水系連絡導水路
- ・東海環状自動車道
- ・伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクト
- ・臨海部防災拠点機能強化



【事業がもたらす効果】

- ・災害に強い地域が形成される
 - 洪水から地域を守る ダム・河川整備
 - 渇水から地域を守る ダム・連絡導水路
 - 地震から地域を守る 耐震インフラ整備
 - 高潮から地域を守る 海岸整備
 - リダンダンシーの確保 ダブルネットワーク
- ・ヒト・モノの移動が容易な地域が形成される
 - 移動できる範囲が拡大(時間の短縮)
 - 移動困難な地域間が連絡(距離の短縮)
 - 交通結節点のスムーズ化(港湾、空港機能の充実)



【その先にみえる社会像】

中部のまち・みず・みち・みなとが身近になり、暮らし、観光、商業などより地域間が近接した地域が形成

災害にも強い交流圏域の大幅な拡大
 新たな企業進出や宅地開発による成長力強化
 地域間の新たな交流

地域の活性化

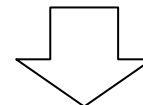
インフラビジョン(案)が提案する将来像～主な事業を事例として…



【伊勢湾及びその流域における主な事業】

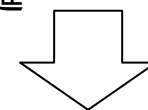
伊勢湾再生

- ・木曾三川自然再生事業
- ・下水道整備
- ・シーブルー事業
- ・港湾緑地の整備
- ・ふるさと海岸保全施設



【事業がもたらす効果】

- ・健全な水・物質循環の構築と多様な生態系の回復
 - 水質・底質の改善
 - 赤潮、貧酸素水塊、苦潮の発生の抑制
 - 漁獲量の増加
- ・生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充
 - だれもが海に親しむことができ、海の魅力を享受
 - みなとを核として地域の交流の場が形成され、地域の活性化の促進



【その先にみえる社会像】

伊勢湾に多様な生態系が回復し、伊勢湾が身近になり、人々が伊勢湾を誇りに思う社会を形成

中部地方の魅力の向上
地域の観光振興の促進
漁業資源の回復

インフラビジョン(案)が提案する将来像～主な事業を事例として…



【三遠南信地域における主な事業】

- ・三遠南信自動車道
- ・天竜川ダム再編事業(総合土砂管理)
- ・三河港多目的国際ターミナルプロジェクト
- ・臨海部防災拠点機能の強化

【事業がもたらす効果】

- ・災害に強い地域が形成される
 - 土砂災害から地域を守る 土砂管理
 - 洪水から地域を守る ダム再編
 - 地震から地域を守る 耐震インフラ整備
 - リダンダンシーの確保 ダブルネットワーク
- ・ヒト・モノの移動が容易な地域が形成される
 - 太平洋と日本海を連絡(新たな交流)
 - 生活道路の確保(通行不能区間の解消)
 - 交通結節点のスムーズ化(港湾機能の充実)
- ・環境にやさしい地域が形成される
 - 健全な流砂系の確保(海浜の再生)
 - 周囲の景観と調和したインフラ

【その先にみえる社会像】

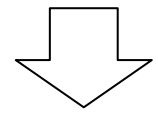
ヒト・モノの交流(信仰の道・塩の道)が復活
「地方時代」のモデル圏域が形成

都市と中山間地域の連携強化
中山間地域の活性化
豊かな自然に育まれた健全な地域
物流機能の充実による地域の成長力強化

インフラビジョン(案)が提案する将来像 ~ 主な事業を事例として...

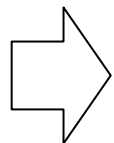
【東西軸関連の主な事業】

- ・第二東名高速道路
- ・第二名神高速道路
- ・海岸保全事業
- ・由比地区地すべり対策
- ・海上ネットワークの構築
- ・臨海部防災拠点機能の強化



【事業がもたらす効果】

- ・災害に強い地域が形成される
 - 地震から地域を守る 耐震インフラ整備、地すべり対策
 - 津波から地域を守る 港湾、海岸の整備
 - 高潮から地域を守る 海岸の整備
 - 大雪による交通麻痺を回避する 第二名神
 - 海岸侵食から地域を守る 海岸保全
 - リダンダンシーの確保 ダブルネットワーク
- ・ヒト・モノの移動が容易な地域が形成される
 - 東西軸の強化(新たな東西軸の形成)
 - 渋滞の解消(ダブルネットワーク)
 - 交通結節点のスムーズ化(港湾機能の充実)



【その先にみえる社会像】

日本の大動脈として、産業・経済の発展を支える

被災しても寸断されない交通ネットワークが形成され、日本経済の停滞を抑制する

東京圏、中部圏、関西圏の三大都市圏を結び、相互の交流の活発化、連携強化を促す

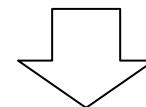


インフラビジョン(案)が提案する将来像～主な事業を事例として…



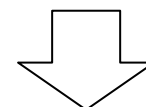
【三重県紀勢地域における主な事業】

- ・熊野尾鷲道路
- ・近畿自動車道紀勢線
- ・宮川床上浸水対策特別緊急事業



【事業がもたらす効果】

- ・災害に強い地域が形成される
 - 大雨から地域を守る
 - 津波から地域を守る
 - 地震から地域を守る
 - リダンダンシーの確保
- ・移動が容易な地域が形成される
 - 安心できる暮らしの確保
 - アクセス性向上(線形、旅行時間)



【その先にみえる社会像】

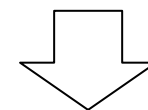
被災時においても陸の孤島にならず、緊急輸送路の確保された地域
 熊野古道による観光交流促進
 広域的な地域交流が可能
 高度医療受診の選択が可能に

インフラビジョン(案)が提案する将来像～主な事業を事例として...



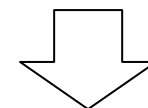
【岐阜県飛騨地方における主な事業】

- ・東海北陸自動車道
- ・中部縦貫自動車道



【事業がもたらす効果】

- ・災害に強い地域が形成される
大雪から地域を守る 高規格道路
リダンダンシーの確保 リスク分散
- ・移動が容易な地域が形成される
アクセス性向上
観光地の連絡道路



【その先にみえる社会像】

- 観光地の活性化・連携強化
多様な観光ルートの利用・提供
- 通勤圏・生活圏の拡大
- 高度医療受診の選択
- 北陸地域との連携強化
いろいろな拠点からMade in 中部を国内外に発信
北陸地域からの伊勢湾の港湾、中部国際空港利用が拡大